

平成26年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県国際経済・交流課

目 次

国際化の現況

1. 現 況

(1) 海外渡航者の状況

日本人出国者数の推移	4
外国人入国者数の推移	4
年次別旅券発給件数	4
佐賀県の男女別・年齢別発給件数	5

(2) 在留外国人数の状況

年次別在留外国人登録者数の推移	6
在留外国人数(国籍・地域別)	7
在留外国人数(在留資格別)	8

(3) 外国人留学生の受入状況

外国人留学生数の推移	9
県内外国人留学生の受入状況	9

(4) 経済交流の状況

佐賀県貿易額の推移

ア 輸出入額	10
イ 品目別輸出額	11
ウ 地域別輸出額	11
エ 品目別輸入額	12
オ 地域別輸入額	12

佐賀県国際戦略「世界とつながる佐賀県行動計画」

1. 概要説明資料

2. 国際化推進事業概要

(1) 佐賀県の事業	21
(2) 財団法人佐賀県国際交流協会の事業	27
(3) 市町の事業	29
(4) 県関連の県民海外派遣事業	36
(5) 外国語によるパンフレット等の作成状況	38

3. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好締結交流

姉妹・友好締結について	42
-------------	----

全国の状況	43
ア 自治体別友好姉妹提携数	43
イ 相手国別友好姉妹提携数	44
佐賀県の状況	45
ア 相手国別提携一覧	45
イ 県・ウ 市町の状況	46
エ その他の友好団体	50
教育機関等の姉妹友好等提携交流	51
ア 大学・短期大学	51
イ 高等学校	55
ウ 中学校	55
エ 小学校	56
オ 幼稚園	56
カ その他の交流状況	57
(2) 世界の諸地域との交流	
市町別移住者数	58
在外県人会	59
4 . 国際化推進のための環境づくり	
(1) 人材育成	
語学指導等を行う外国青年招致事業(J E T プログラム)	60
ア 年度別招致状況	60
イ 配置状況	61
外国語教育	62
ア 県立学校における留学生受入校及び受入人数	62
イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	62
ウ 県立高校における英語以外の外国語の取り組み状況	63
エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況	63
オ 海外との交流状況(姉妹友好等提携交流を除く)	64
5 . 国際協力	
(1) 国際協力の推進	
佐賀県海外技術研修員受入状況	68
独立行政法人国際協力機構(JICA) 研修員受入状況	69
独立行政法人国際協力機構海外技術専門家派遣状況	70

青年海外協力隊派遣状況	71
ア 年度別派遣者数	71
イ 国別・地域別派遣者数	71
ウ 青年海外協力隊派遣状況	72
シニア海外ボランティア派遣状況	72
日系社会青年ボランティア派遣状況	72
日系社会シニア・ボランティア派遣状況	72
アセアン青年等受入状況	73

国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課(室)	74
2. 佐賀県庁の機関	74
3. その他関係機関	75

国際化の現況

1. 現況

(1) 海外渡航者の状況

佐賀県の日本人出国者数は平成12年の76,297人をピークに減少傾向が続いており、平成21年以降いったんは増加に転じたが、平成25年以降再び減少し、平成26年の出国者数は57,006人と前年に比べ2,869人の減少（前年比4.8%の減）となった。全国的にも平成24年には、日本人出国者数が18,490,657人と過去最高となったが、平成25年以降は減少している。また、外国人入国者数は、平成26年は14,150,185人となり、前年に比べ2,894,964人（25.7%）増加し、過去最高となった。

旅券発給件数についても、平成24年までは概ね2万件前後で推移してきたが、平成25年以降は不安定な国際情勢や円安等の影響から減少し、平成26年の発給件数は16,021件と前年に比べ450件の減少（前年比約2.7%減）となった。

日本人出国者数の推移

年次	佐賀県		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
元	38,599	112.2	9,662,752	114.7
2	41,971	108.7	10,997,431	113.8
3	41,301	98.4	10,633,771	96.7
4	47,883	115.9	11,790,699	110.9
5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
23	60,369	103.4	16,994,200	102.1
24	69,039	114.3	18,490,657	108.8
25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
26	57,006	95.2	16,903,388	96.7

外国人入国者数の推移

年次	人数(人)	前年比%
元	3,063,495	123.1
2	3,504,470	114.4
3	3,855,952	110.0
4	3,926,347	101.8
5	3,747,157	95.4
6	3,831,367	102.2
7	3,732,450	97.4
8	4,244,529	113.7
9	4,669,514	110.0
10	4,556,845	97.6
11	4,901,317	107.6
12	5,272,317	107.6
13	5,286,310	100.3
14	5,771,975	109.2
15	5,727,240	99.2
16	6,756,830	118.0
17	7,450,103	110.3
18	8,107,963	108.8
19	9,152,186	112.9
20	9,146,108	99.9
21	7,581,330	82.9
22	9,443,696	124.6
23	7,135,407	75.6
24	9,172,146	128.5
25	11,255,221	122.7
26	14,150,185	125.7

法務省入国管理局

年次別旅券発給件数

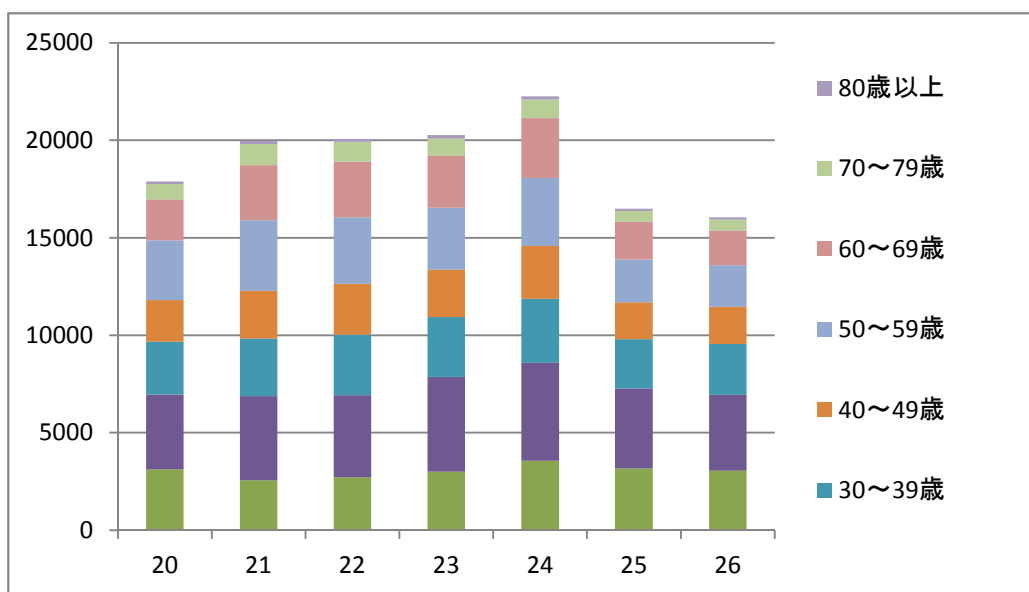
年次	19	20	21	22	23	24	25	26
佐賀県 発給数	20,132	17,861	19,949	20,050	20,239	22,225	16,471	16,021
全国 発給数	4,209,097	3,801,384	4,015,470	4,185,080	3,961,382	3,924,008	3,296,805	3,210,844

外務省

佐賀県の年代別発給件数

年次	20	21	22	23	24	25	26
19歳以下	3,095	2,548	2,695	2,981	3,546	3,143	3,027
20～29歳	3,846	4,309	4,213	4,852	5,011	4,112	3,893
30～39歳	2,702	2,962	3,091	3,075	3,286	2,513	2,614
40～49歳	2,141	2,432	2,612	2,421	2,704	1,889	1,895
50～59歳	3,073	3,634	3,415	3,198	3,498	2,205	2,138
60～69歳	2,084	2,820	2,864	2,649	3,061	1,930	1,783
70～79歳	793	1,086	1,007	893	954	568	563
80歳以上	127	158	153	170	165	111	108
合 計	17,861	19,949	20,050	20,239	22,225	16,471	16,021

外務省



(2)在留外国人数の状況

佐賀県における在留外国人数は、平成26年（2014年）12月末現在4,285人で、前年同期に比べると56人の増加となっており、佐賀県の総人口834,353人（2015年1月1日現在）に対する構成比は約0.5%となっている。

外国人登録者の国籍数は66となっており、国籍別内訳を見ると、中国が1,463人（約34.1%）と最も多く、次いで韓国・朝鮮741人（17.3%）、フィリピン535人（12.5%）、ベトナム446人（10.4%）、インドネシア293人（6.8%）の順となっている。

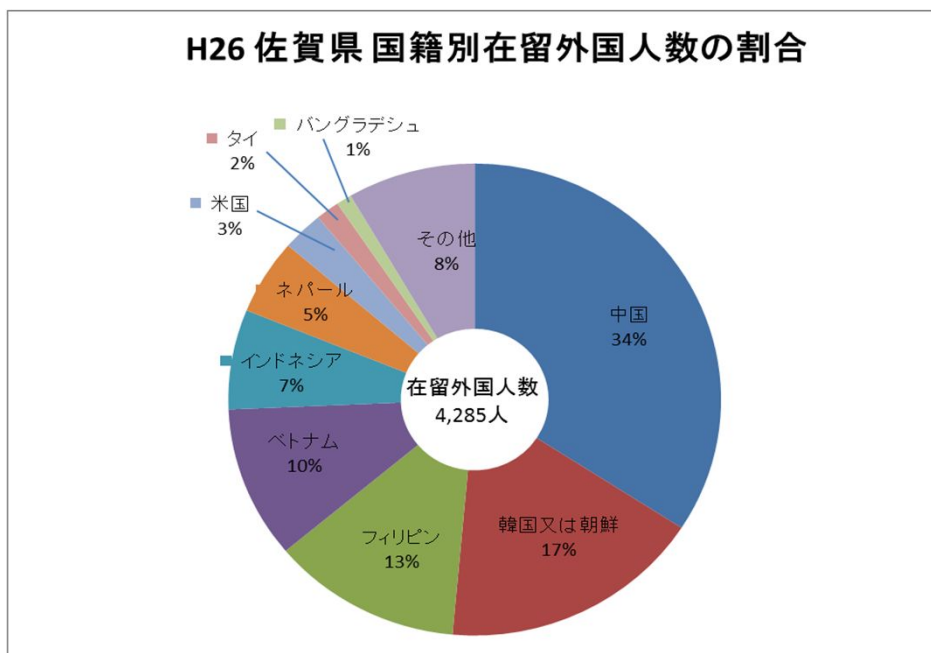
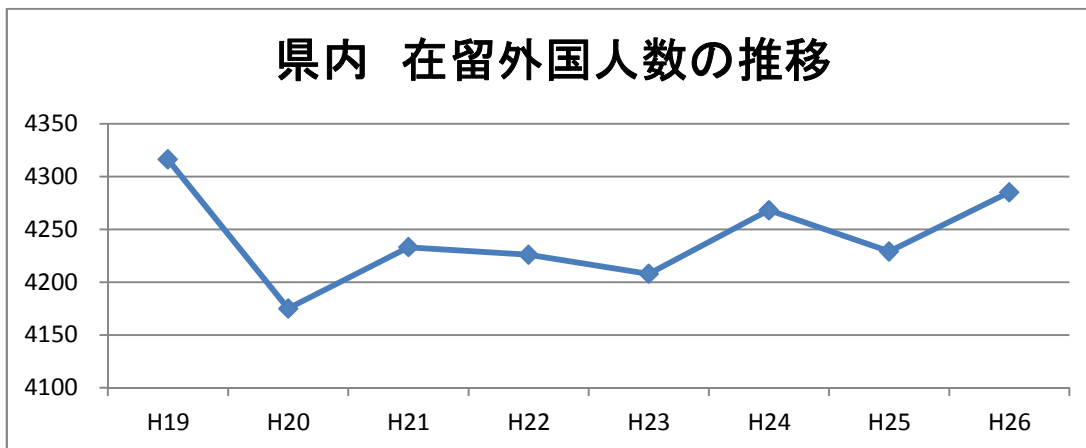
在留資格別で見ると、「技能実習」が1,303人（30.4%）と最も多く、次いで「永住者」が920人（21.5%）、「留学」566人（13.2%）、「特別永住者」の547人（12.8%）の順となっている。

年次別在留外国人数の推移

平成26年12月末現在

年次	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
佐賀県	4,316	4,175	4,233	4,226	4,208	4,268	4,229	4,285
全国	2,152,973	2,217,426	2,186,121	2,134,151	2,078,508	2,033,656	2,066,445	2,121,831

佐賀県：国際経済・交流課調
全 国：入国管理局



平成23年までは「外国人登録者数」として統計を作成。

区分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計	区分	
総計	1,243	559	798	74	392	144	123	134	124	79	74	78	32	108	5	87	21	53	122	35	4,285	総計	
中国	401	287	177	27	103	48	57	49	36	36	33	26	8	61	18	7	7	65	17	1,463	中国		
韓国又は朝鮮	270	76	119	14	60	18	9	27	48	12	11	15	6	10	1	19	7	5	11	3	741	韓国又は朝鮮	
フィリピン	167	40	112	8	13	24	14	28	24	10	16	2	14	23	2	12	3	1	18	4	535	フィリピン	
ベトナム	60	97	133	3	24	18	4	4		10	3	19		1		5		38	20	7	446	ベトナム	
インドネシア	47	3	6	1	170	14	15	12							24						293	インドネシア	
ネパール	32	4	168				7					5		5							221	ネパール	
タイ	29	2	12	3	2	2	6				5	3	1	2							67	タイ	
バングラデシュ	41		2																		43	バングラデシュ	
マレーシア	29		2					1			1			1							34	マレーシア	
スリランカ	11		22																		33	スリランカ	
台湾	18		3		1																22	台湾	
アフガニスタン				13						6											19	アフガニスタン	
カンボジア	2						4		5									3	3		17	カンボジア	
インド	9		3											1							13	インド	
ミャンマー	1								4											3	8	ミャンマー	
パレスチナ	4																				4	パレスチナ	
パキスタン	3		1																		4	パキスタン	
シンガポール		1										1									2	シンガポール	
イラン	1																				1	イラン	
イスラエル														1							1	イスラエル	
モンゴル			1																		1	モンゴル	
トルコ										1											1	トルコ	
ラオス											1										1	ラオス	
アジア州	1,125	510	762	69	373	124	116	121	117	75	70	71	29	105	3	78	20	51	118	34	3,971	アジア州	
オーストラリア	12	2	3		2	1	1		1	1						1					1	26	オーストラリア
ニュージーランド	3	1			1						1		1								7	ニュージーランド	
フィジー			3																		3	フィジー	
大洋州	15	3	6	0	3	1	1	0	1	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	36	大洋州
エジプト	4																				4	エジプト	
ケニア	2							1													3	ケニア	
モロッコ		1																			1	モロッコ	
コンゴ共和国						1															1	コンゴ共和国	
モーリシャス		1																			1	モーリシャス	
ウガンダ	1																				1	ウガンダ	
マダガスカル				1																	1	マダガスカル	
モザンビーク	1																				1	モザンビーク	
アフリカ州	8	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	アフリカ州	
英国	9	10	3		1	1		1		1				1							27	英国	
ルーマニア	3	3			2				1			1									10	ルーマニア	
ブルガリア	1				4																5	ブルガリア	
アイルランド	4	1																			5	アイルランド	
イタリア	2					2	1														5	イタリア	
フランス	4																				4	フランス	
スペイン			2					1					1								4	スペイン	
デンマーク			1					2													3	デンマーク	
ドイツ						1										2					3	ドイツ	
ポーランド					1	1															2	ポーランド	
フィンランド	2																				2	フィンランド	
リトアニア	1															1					2	リトアニア	
モルドバ					1																1	モルドバ	
オーストリア							1														1	オーストリア	
ノルウェー													1								1	ノルウェー	
スロベニア									1												1	スロベニア	
チェコ			1																		1	チェコ	
ヨーロッパ州	26	17	4	0	9	5	2	5	1	1	0	1	2	0	1	3	0	0	0	0	77	ヨーロッパ州	
ロシア	2	1	11									1								1	16	ロシア	
ベラルーシ	2							1													3	ベラルーシ	
ウクライナ	1																				1	ウクライナ	
ロシア・NIS	5	1	11	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	20	ロシア・NIS	
米国	43	17	10	4	5	9	4	3	4	1	1	3		2	1	3	1	2	3		116	米国	
カナダ	11	6	2		1	1					1					2					24	カナダ	
メキシコ	2	1						1				1									5	メキシコ	
ジャマイカ			1									1									2	ジャマイカ	
バハマ	1																				1	バハマ	
北アメリカ州	57	24	13	4	6	10	4	4	4	1	2	5	0	2	1	5	1	2	3	0	148	北アメリカ州	
ブラジル	5	1	1			1		1						1							10	ブラジル	
チリ						1		1													2	チリ	
コロンビア			1			1															2	コロンビア	
アルゼンチン	1																				1	アルゼンチン	
ホンジュラス					1																1	ホンジュラス	
エクアドル									1												1	エクアドル	
ペルー										1											1	ペルー	
南アメリカ州	6	1	2	0	1	3	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	18	南アメリカ州	
その他	1	1	1																		3	その他	

『その他』は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている人です。

在留外国人数（在留資格別）

平成26年12月末現在

市町 区分	市町																			計	市町 区分		
	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町			太良町	
總計	1,243	559	798	74	392	144	123	134	124	79	74	78	32	108	5	87	21	53	122	35	4,285	總計	
教授	17					1																18	教授
芸術	2																					2	芸術
宗教	1	1			7	2	1															12	宗教
投資・経営	6		1	2			1			1			1			1						13	投資・経営
医療	1		1																			2	医療
研究			2																			2	研究
教育	20	14	8		1	7	4		1		1				1	1	1	1	2			62	教育
技術	6				2	1		1			2	1		2								15	技術
人文知識・国際業務	37	7	21	2	8	2		3	6	3	2			1		5	1					98	人文知識・国際業務
企業内転勤	5	2	1	1	1	1																11	企業内転勤
興行	2		9						5													16	興行
技能	29	4	15			1	9				1			3								62	技能
文化活動	9	1			2											1						13	文化活動
留学	244	2	297			2	1	1		4	1	11		2		1						566	留学
研修	1	1			1						2											5	研修
家族滞在	108	10	47	13	7	5	5	6	4		3	4		1		1	2		1			217	家族滞在
特定活動	2	3	5	1	1	2	15	1	1	1		4			1							37	特定活動
永住者	325	103	146	15	42	38	13	46	22	31	21	14	15	39	2	13	4	6	19	6		920	永住者
日本人の配偶者等	73	32	32	4	17	10	11	12	7	8	5	5	2	8		9		1	7			243	日本人の配偶者等
永住者の配偶者等	2	1	4							1	1			1								10	永住者の配偶者等
定住者	36	2	17	1	18	6	5	7		1	1	2	4	4		1			3			108	定住者
特別永住者	179	58	84	13	48	15	9	22	38	4	9	13	4	9	1	16	7	5	11	2		547	特別永住者
技能実習	1号イ		4	26								2										32	1号イ
	1号ロ	81	109	31	11	104	16	21	27	18	16	8	20	18		14	3	13	49	18		577	1号ロ
	2号イ		12	9		13																34	2号イ
	2号ロ	56	192	41	11	133	22	28	8	22	9	17	2	6	20		24	3	27	30	9	660	2号ロ
その他（未取得等）	1	1	1																			3	その他（未取得等）

『その他』は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている方も含んでいます。

(3) 外国人留学生の受入状況

平成 26 年の佐賀県における外国人留学生数は、458 人と前年に比べ 7 人の減少となっている。

学校種別で見ると、大学・短大ではここ数年留学生数が減少しているのに対し、日本語教育機関では増加傾向にある。学校別で見ると、佐賀大学が 233 人、弘堂国際学園が 199 人と、この 2 校で全体の 94% を占めている。

国籍別で見ると、中国 120 人、ベトナム 112 人、ネパール 95 人の順となっており、大学では中国、日本語教育機関ではベトナムとネパールが多数を占めている。

外国人留学生数の推移

(平成 26 年 5 月現在)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
大 学	323	306	302	297	282	269	240
短 大	27	22	31	20	17	18	19
日 本 語 教 育 機 関	59	103	87	118	146	178	199
県 内 計	409	431	420	435	445	465	458
全 国 計	123,829	132,720	175,040	163,697	161,848	168,145	184,155

県内：佐賀地域留学生等交流推進協議会調

全国：独立行政法人日本学生支援機構調

県内外国人留学生の受入状況（学校別）

(平成 26 年 5 月現在)

	中 国	ベトナム	ネパール	韓 国	マレーシア	インドネシア	スリランカ	タ イ	台 湾	その他	計
佐 賀 大 学	109	13	2	16	21	17	8	10	14	23	233
西九州大学	1			2				4			7
九州龍谷 短期大学	2	2						1			5
佐賀女子 短期大学	5	3		5						1	14
西九州大学 短期大学部											0
弘堂国際 学 園	3	94	93				8	1			199
合 計	120	112	95	23	21	17	16	16	14	24	458

佐賀地域留学生等交流推進協議会調

(4) 経済交流の状況

平成25年の本県の貿易合計額については、輸出入合計では2,877億円（対前年比109.1%、241億円増）となった。

輸出については、船舶（209億円増）及び石油・ゴム製品（36億円増）の増加により、輸出総額は2,470億円（同108.7%、197億円増）となった。

輸入については、化学・医薬品（24億円増）、衣料品・その他（18億円増）及び農水産物（17億円増）などの増加により輸入総額は407億円（同112.2%、44億円増）となった。

貿易相手国・地域については、輸出での上位3か国はアメリカ、韓国、パナマとなっており、これらの国で輸出額全体の39.7%を占めている。

輸入での上位3か国は、カナダ、中国、アメリカとなっており、これらの国が輸入額全体の62.3%を占めている状況であった。

佐賀県貿易額の推移

ア 輸出入額

（単位：億円、％）

	輸 出		輸 入		合 計	
	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比
11	2,046		528		2,574	
12	2,198	107.4	568	107.6	2,766	107.5
13	1,845	83.9	556	97.9	2,401	86.8
14	1,885	102.2	624	112.2	2,509	104.5
15	2,188	116.1	655	105.0	2,843	113.3
16	2,328	106.4	673	102.7	3,001	105.6
17	2,732	117.4	606	90.0	3,337	111.2
18	3,247	118.9	689	113.7	3,936	118.0
19	3,457	106.5	706	102.5	4,163	105.8
20	3,148	91.1	529	74.9	3,677	88.3
21	2,206	70.1	352	66.5	2,558	69.6
22	2,744	124.4	341	96.9	3,086	120.6
23	2,457	89.5	378	110.9	2,836	91.9
24	2,273	92.5	363	96.0	2,636	92.9
25	2,470	108.7	407	112.1	2,877	109.1

(注)小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

イ 品目別輸出額

(単位：億円、%)

年次 品目別	21		22		23		24		25	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比
農水産物・飲食料品	1.7	0.1	2.5	0.1	2.7	0.1	1.9	0.1	4.8	0.2
調味料	59.7	2.7	76.7	2.8	77.1	3.1	71.4	3.1	60.5	205.0
木竹材・紙製品	0.2	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.8	0.0
化学・医薬品	2.0	0.1	1.9	0.1	1.2	0.0	1.7	0.1	3.7	0.2
石油・ゴム製品	355.0	16.1	441.5	16.1	475.3	19.3	391.2	17.2	427.2	17.3
一般陶磁器	0.4	0.0	0.6	0.0	0.5	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0
工業用陶磁器	4.2	0.2	6.1	0.2	6.6	0.3	4.6	0.2	2.1	0.1
金属加工品	694.8	31.5	972.6	35.4	940.6	38.3	823.6	36.2	761.7	30.8
電気・電子機器	245.4	11.1	307.9	11.2	286.3	11.7	289.7	12.7	307.4	12.4
一般機器	71.8	3.3	56.6	2.1	93.1	3.8	106.7	4.7	96.4	3.9
船舶	748.7	33.9	862.7	31.4	562.5	22.9	565.4	24.9	774.3	31.3
その他	21.8	1.0	15.1	0.6	11.1	0.5	16.1	0.7	30.4	1.2
合計	2,205.9	100.0	2,744.3	100.0	2,457.3	100.0	2,273.0	100.0	2,470.0	100.0

ウ 地域別輸出額

(単位：億円、%)

年次 地域別	21		22		23		24		25	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比
北米	262.3	11.9	412.6	15.0	454.0	18.5	397.8	17.5	372.5	15.1
西欧	497.3	22.5	369.6	13.5	380.9	15.5	301.2	13.2	409.1	16.6
オセアニア	72.3	3.3	24.0	0.9	23.8	1.0	30.6	1.3	34.6	1.4
アジア	858.3	38.9	1,151.0	41.9	1,022.4	41.6	1,038.6	45.7	964.2	39.0
中近東	42.7	1.9	44.8	1.6	42.6	1.7	42.8	1.9	48.0	1.9
アフリカ	12.1	0.5	19.9	0.7	141.8	5.8	317.9	14.0	291.1	11.8
中南米	457.4	20.7	714.5	26.0	372.0	15.1	120.4	5.3	322.8	13.1
ロシア・東欧諸国他	3.5	0.2	7.9	0.3	19.6	0.8	23.7	1.0	27.6	1.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県計	2,205.9	100.0	2,744.3	100.0	2,457.3	100.0	2,273.0	100.0	2,470.0	100.0

工 品目別輸入額

(単位：億円、%)

年次 品目別	21		22		23		24		25	
	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比
農水産物	159.5	45.2	155.0	45.4	168.2	44.5	194.4	53.5	211.0	51.8
飲食料品	23.4	6.6	33.1	9.7	37.1	9.8	16.7	4.6	14.2	3.5
石材	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
木竹材	14.6	4.1	4.3	1.3	4.5	1.2	3.0	0.8	1.5	0.4
衣料品・その他	14.6	4.1	15.8	4.6	30.6	8.1	10.7	3.0	28.4	7.0
化学・医薬品	34.6	9.8	31.2	9.1	47.3	12.5	30.2	8.3	53.9	13.2
金属加工製品	50.5	14.3	51.5	15.1	39.7	10.5	43.4	12.0	49.2	12.1
電気・電子機器	25.3	7.2	21.6	6.3	24.9	6.6	25.4	7.0	17.0	4.2
一般機械	6.1	1.7	6.7	2.0	6.7	1.8	18.5	5.1	8.8	2.2
玩具・レジャー用品	0.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
家具・調度品	13.8	3.9	12.8	3.7	8.8	2.3	7.2	2.0	5.7	1.4
雑貨・その他	8.9	2.5	8.9	2.6	9.9	2.6	12.9	3.5	16.9	4.2
合計	352.5	100.0	341.4	100.0	378.3	100.0	363.0	100.0	407.2	100.0

オ 地域別輸入額

(単位：億円、%)

年次 地域別	21		22		23		24		25	
	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比
北米	103.7	29.4	127.8	37.4	121.3	32.1	133.3	36.7	165.2	40.6
西欧	10.7	3.0	16.8	4.9	21.8	5.8	8.1	2.2	14.1	3.5
オセアニア	13.3	3.8	12.3	3.6	5.7	1.5	11.9	3.3	12.1	3.0
アジア	172.8	49.0	132.3	38.8	153.8	40.7	163.2	45.0	162.9	40.1
中近東	1.5	0.4	0.4	0.1	0.6	0.2	0.2	0.1	0.5	0.1
アフリカ	1.2	0.3	1.0	0.3	0.9	0.2	0.8	0.2	1.0	0.2
中南米	49.3	14.0	50.7	14.9	74.1	19.6	45.5	12.5	51.4	12.6
ロシア・東欧諸国他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県計	352.5	100.0	341.4	100.0	378.3	100.0	363.0	100.0	407.2	100.0

(平成25年佐賀県貿易白書)

図5 平成25年度 佐賀県地域別輸出額

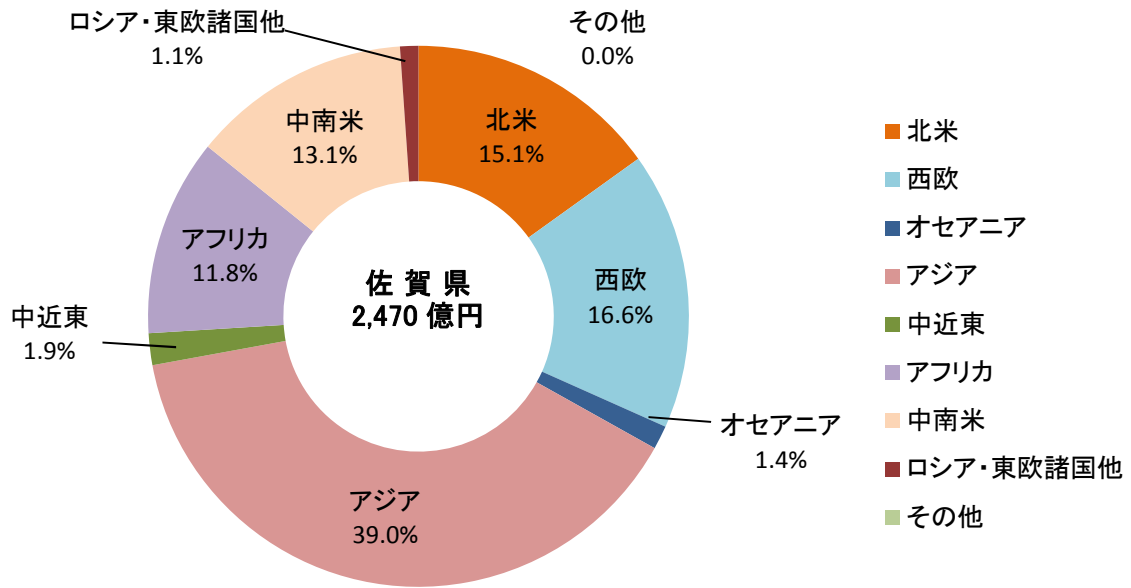
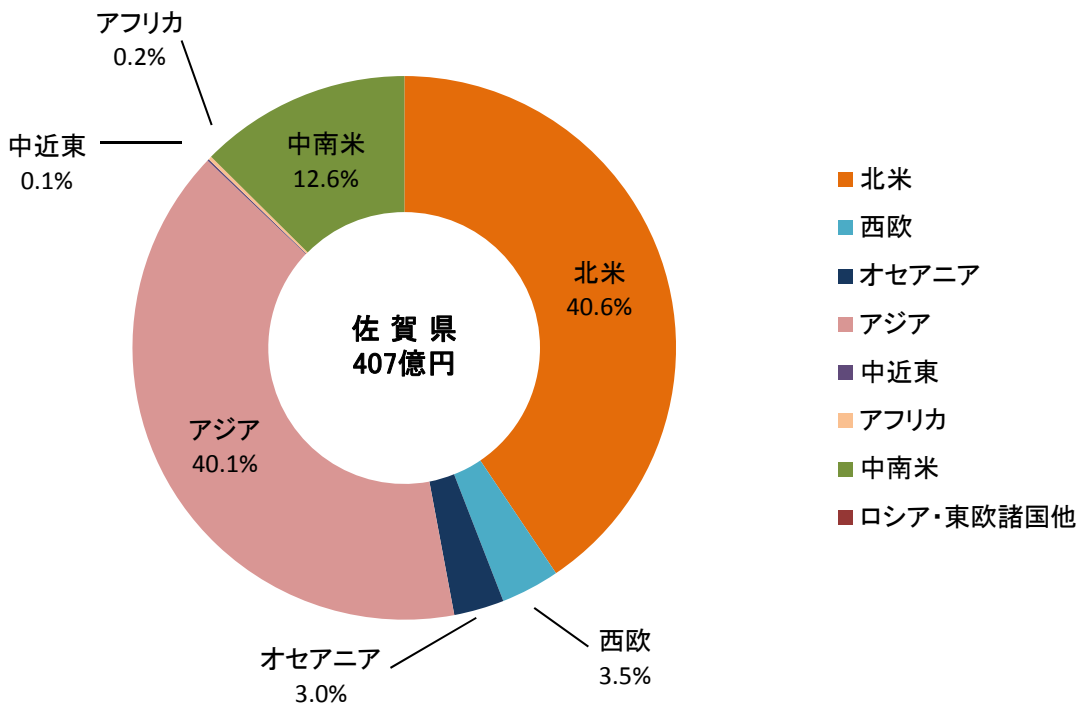


図6 平成25年度 佐賀県地域別輸入額



新たな佐賀県国際戦略

「世界とともに発展する佐賀県行動計画 ～羅針盤～」

《概要説明資料》

2014年6月

佐賀県 国際・観光部 国際戦略グループ

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

1

1 振り返り（前 国際戦略に基づく3年間の取組の振り返り）

《主な成果》 ⇒「世界とつながる佐賀県」を着実に実現

- ①上海線、ソウル線の就航。
- ②県内の外国人宿泊客数が、初めて5万人を突破。（2013年：51,660人（速報値））
- ③牛肉香港輸出量が過去最高を更新（2013年度：27.3 t）。米国、タイ、シンガポールと輸出先も増加。
- ④遼寧省との友好協力パートナーシップ協定の締結による両地域の交流深化。
- ⑤麗水博での曳山パレードやユニバーサルデザインシンポジウムの開催を通じた全羅南道との交流深化。
- ⑥県内中学・高校（計16校）による中国韓国との学校間交流がスタート。（国際感覚や海外志向の醸成）
- ⑦瀋陽・香港の海外事務所、上海デスクの3拠点を開設。
- ⑧有田焼創業400年事業や唐津コスメ構想など、ヨーロッパを対象とした新たなプロジェクトがスタート。

《主な反省点》

- ①各取組の連携が必ずしも十分でなかった。
- ②国際化の必要性や国際化に向けた取組の内容、企業への海外投資情報など、県内向けの情報発信が十分ではなかった。
- ③海外での情報発信、佐賀県の認知度向上の取組が十分ではなかった。
- ④「多文化共生の地域づくり」という県民意識の醸成が、まだ十分には出来ていない。

- グローバル化の進展により、世界との関係はより一層緊密化。
- 「Take Only（相手に求める）」から「Give & Take（互いに与えて求め合う）」への転換。
- 「世界とつながった佐賀県」が、これからは世界の一員として、「世界とともに発展」していくことを目指す。

佐賀県の国際戦略は、次なるステージへ！



Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

2

2 使命（ミッション）【県が取り組む目的・意義】

【佐賀県の使命（ミッション）】

佐賀県が「世界とともに発展する佐賀県行動計画 ～羅針盤～」を描き、県民の皆さま（個人、地域、企業、団体、学校…）とともに積極的に取り組んでいく。

- 国内における少子高齢化や人口・労働力の減少、一方では成長する海外、そうした中で、佐賀県を維持・発展させていくためには、将来を見据えた対策を今から考え、行動していくことが必要不可欠。
- また、経済成長や人口増加が期待される世界の国々とのつながりを一層強化し、世界とともに発展する佐賀県となっていくためには、どのように舵を切ればいいのか、佐賀県が進むべき方向性を示す羅針盤が必要。



3 新たな国際戦略「世界とともに発展する佐賀県行動計画」の全体構成



4 取組の方向性

《1.世界に向けて》

人口減少傾向に伴う国内市場の縮小が避けられない状況の中、成長を続ける世界に向けて、県内企業の海外展開や、県産品の販路開拓・拡大など、海外における佐賀県のシェアを拡大していく。

《2.世界を呼び込む》

同時に、海外の活力を県内に呼び込む（取り込む）ことで、佐賀県産業の持続的な発展を図る。

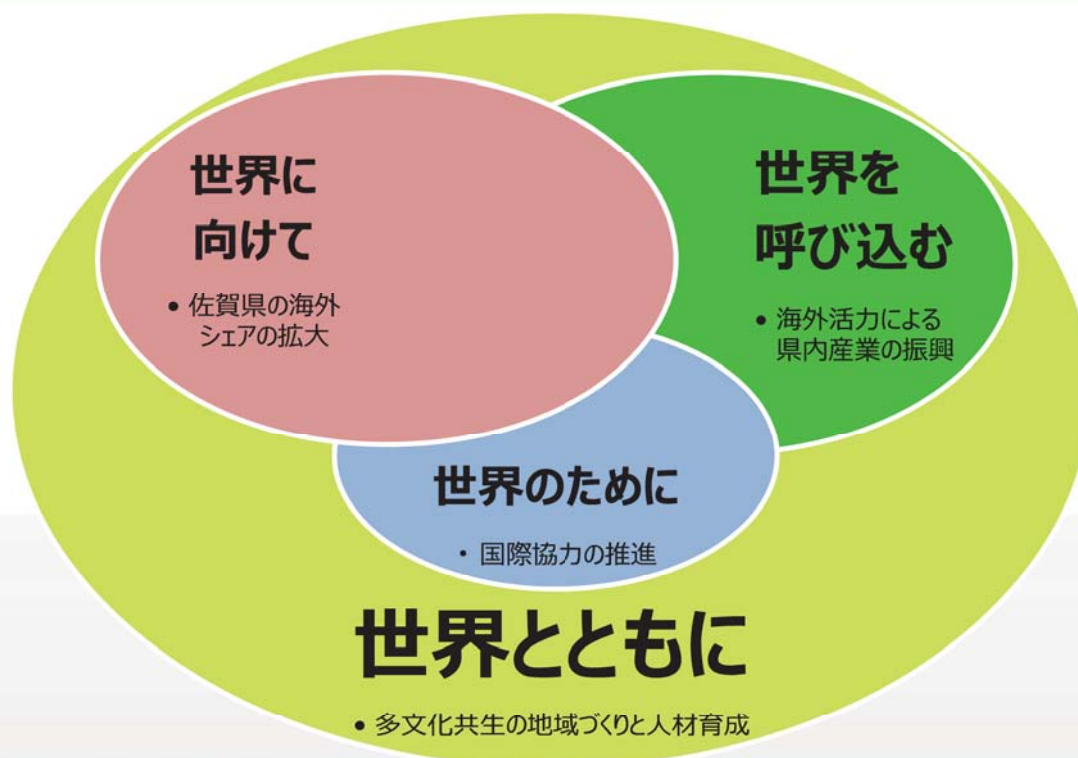
《3.世界のために》

グローバル化が進む中、国際社会がより協調していくことが重要であることから、佐賀県が国際社会の一員として、国際協力を展開していく。

《4.世界とともに》

これらを進めていくため、多文化共生の地域づくりや人材育成など、県民の皆さまの内なる国際化を進めるとともに、佐賀県らしさを尊重する意識の醸成を図る。

5 「取組の方向性」の全体像



6 対象地域（ターゲットエリア）の考え方

「まずは東アジア」から「世界各地域に視野を広げた展開」へ

「これまで：前回の国際戦略」

中国をはじめとした東アジアを当面の主たるターゲットエリアに位置付け。



「状況変化」

- ASEAN諸国の存在感の増大。これに伴う県内企業の関心の高まり。
- 中国は、経済成長の鈍化や日本との国家間の緊張など懸念材料はあるものの、佐賀からの利便性が高い巨大マーケット。
- 有田焼創業400年事業や唐津コスメ構想、佐賀牛輸出先の拡大など、東アジアを超えた新たなプロジェクトが既に動いている。



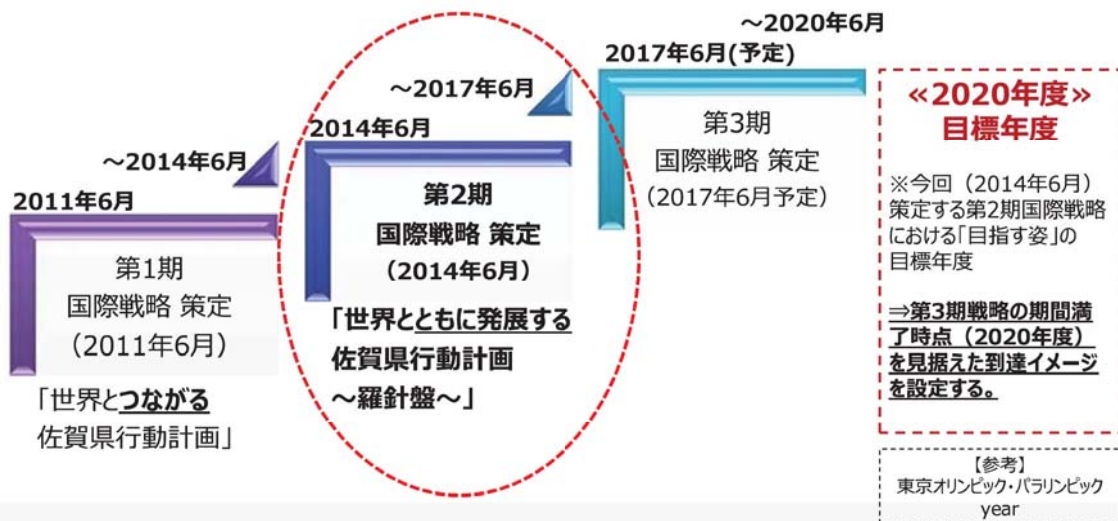
「これから：新たな国際戦略」

東アジアはもとより、世界各地域に視野を広げて、観光客誘致や企業展開の支援、県産品の輸出など、取組目的や世界情勢に応じてターゲットエリアを見極めていく。

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

7

7 目標年度と計画期間について

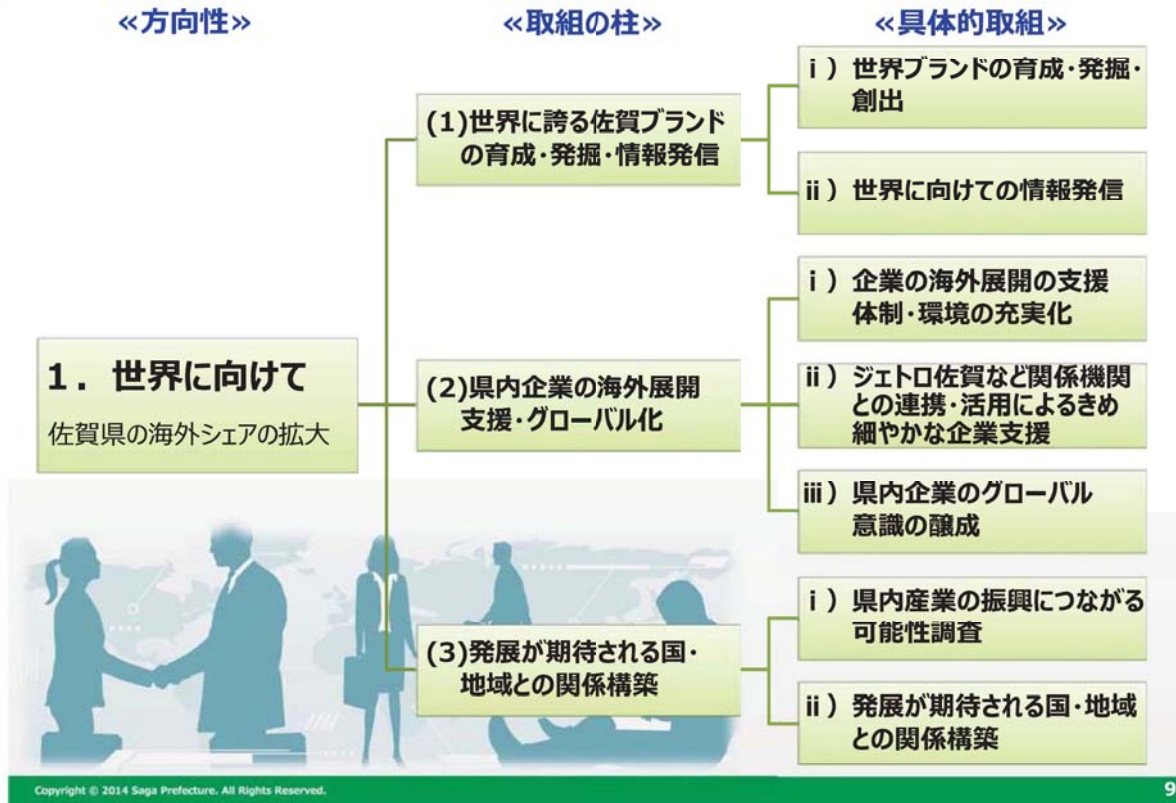


- ◆目標年度 6年後の2020年に目指す姿（到達イメージ）を描く。
- ◆計画期間 日々刻々と変化していく国際情勢に柔軟に対応していくため、新たな国際戦略においても、これまでと同じく計画期間を3年間（2014年6月～2017年6月）と設定。2020年に目指す姿の実現に向けた3年間の具体的取組を、行動計画として取りまとめ。

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

8

8 方向性・取組の柱・具体的な取組 (1/4)



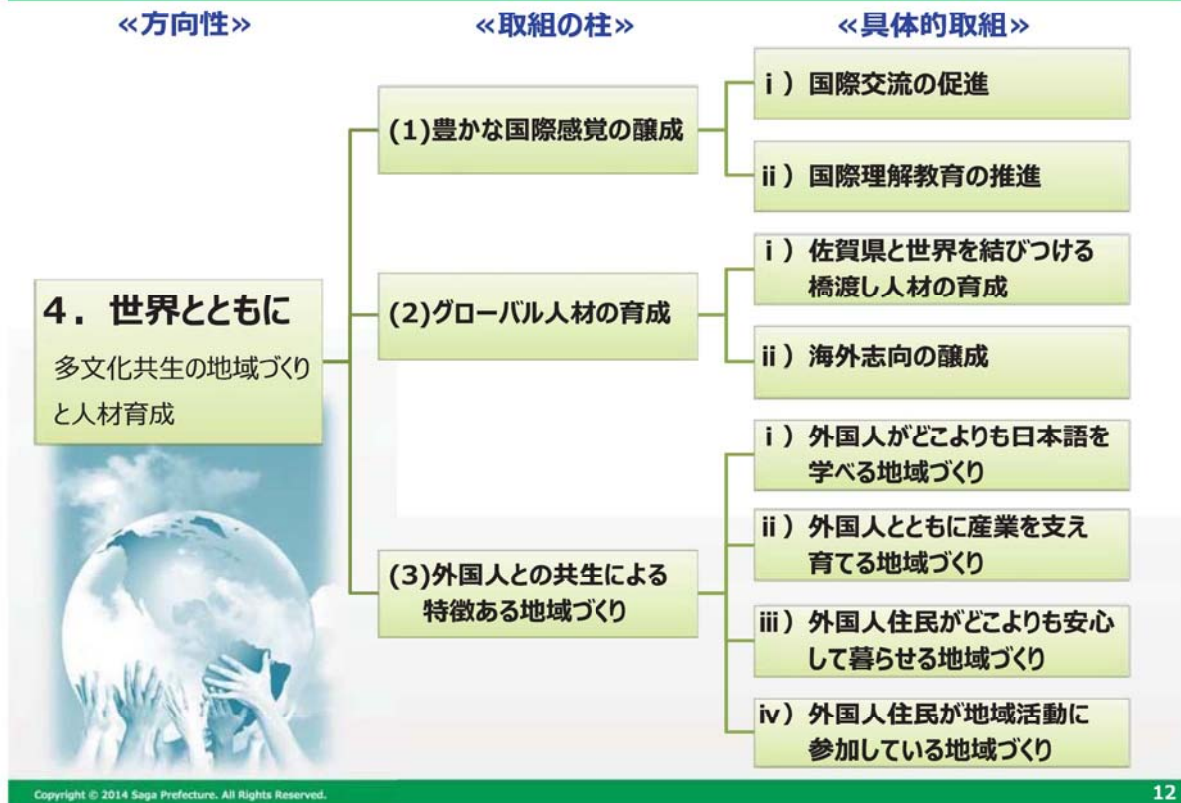
8 方向性・取組の柱・具体的な取組 (2/4)



8 方向性・取組の柱・具体的な取組（3/4）



8 方向性・取組の柱・具体的な取組（4/4）



9 推進体制ほか

推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ○市町、関係団体、事業者、教育機関、大学、CSO等、佐賀県の国際化を担う様々な主体が参画する「佐賀地域留学生等交流推進協議会」等を活用し、各主体との連携と役割分担を行いながら、効果的に事業を展開していく。 ○県全体として、より大きな効果が上がるように、行動計画に基づく全ての取組をコーディネートする機能・体制を強化する。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ○上記の様々な主体等と十分な協議を行った上で設定する。 ○各主体の役割分担と責任を明確にし、目標達成に向けた各主体の積極的な取組を促す。
評価・進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ○外部有識者や県内関係機関で構成する「グローバルSAGA推進検討会(仮称)」を設け、行動計画に基づく施策の実施状況の評価及び進行管理を行う。
海外拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○瀋陽、香港、上海デスクの3拠点においては、佐賀県の認知度向上を図るという観点に、より力を入れながら、今回策定した本行動計画に基づく施策を実施していく。 ○時代の変化や、世界情勢の変化、当初の設置目的に照らし合わせてその結果がどうであったのかなど新たな気づきや視点を取り入れながら、そのミッションや活動内容について随時検討、見直しを行う。

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

13

10 新たな国際戦略策定検討会のメンバー

	主担当分野	機関名	役職・氏名
県外有識者	総論、全般	早稲田大学 国際戦略研究所	所長 片岡 貞治 氏 (国際学術院 教授)
	政策形成	早稲田大学 公共経営大学院	教授 山田 治徳 氏
	経済 (県内産業の海外展開)	(株)野村総合研究所	グローバル製造業コンサルティング部 上級コンサルタント 原 正一郎 氏
	多文化共生、人材育成	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター	プロジェクトコーディネーター 杉澤 経子 氏

県内関係機関	佐賀県（国際戦略グループ、国際経済・交流課 ほか関係課） 佐賀大学（国際交流推進センター） 佐賀県国際交流協会 佐賀銀行（海外ビジネスサポート室） JETRO佐賀貿易情報センター 佐賀県貿易協会
--------	--

Copyright © 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

14

2. 国際化推進事業概要

(1) 佐賀県の事業(平成26年度)

課名	事業名	内 容
国際 経済 ・ 交流課	韓国交流推進事業	県の重点交流地域(全羅南道)とのスポーツ交流等を実施した。 ・さが桜マラソンへの選手団受入:全羅南道5名 ・全羅南道への青少年派遣(日韓小学生サッカー交流):小学生32名 ・全羅南道出身の著名漫画家招聘
	日韓海峡沿岸交流事業	九州北部三県(福岡、佐賀、長崎)、山口県及び韓国南岸一市三道(釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道)との広域的かつ多様な交流を目指し、日韓海峡沿岸県市道交流知事会議及び共同交流事業を実施した。 ・日韓海峡沿岸県市道交流知事会議(H26.11.21~11.22 全羅南道) ・2014青少年文化フォーラム(H26.7.29~8.1 福岡県) 日韓の中学生80名が参加
	中国交流推進事業	県の重点交流地域(遼寧省、貴州省)とのスポーツ、青少年の分野等における交流事業を実施した。 ・さが桜マラソンへの選手団受入:遼寧省5名、貴州省8名 ・貴州省からの青少年受入:高校生10名 ・貴州省への県選手団派遣(ハーフマラソン大会):選手2名、コーチ1名
	世界とつながる佐賀県 青少年国際交流推進事業	佐賀県が持つ中国・韓国のネットワークを活用して、重点交流地域での姉妹校を目指した学校交流を支援した。交流実施校:17校
	JICAボランティア 支援事業	佐賀県出身JICAボランティアの活動報告「とびだそう!世界へ」を佐賀県ホームページに掲載し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。また、派遣中の隊員へ佐賀県情報等を送付し活動を支援した。
	地球発見隊事業	青年海外協力隊帰国隊員等を県内の学校に派遣し、児童・生徒のJICAボランティアへの関心を高めると共に、海外への興味を喚起し、国際交流や国際協力への関心を高めることを目的として実施した。 ・派遣回数:10回(小学校10回) ・参加者数:429名
	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」により国際交流員4名(英語圏1名、韓国2名、中国1名)を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。
	自治体職員 協力交流事業	本県と友好関係のある国・地域(中国貴州省、遼寧省及び韓国全羅南道)との交流を促進するため、職員の派遣・受入を行った。 ・佐賀県職員を中国(貴州省)に派遣:1名(H26.4~H27.3) ・韓国(全羅南道)職員を佐賀県に受入:1名(H26.4~H27.3) ・中国(遼寧省)職員を佐賀県に受入:1名(H26.4~H27.3)
	外国語指導助手(ALT)の 設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」により、日本と諸外国の人々の相互理解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手(Assistant Language Teacher:ALT)設置のサポートを県内の市町に実施した。 ・JETプログラムによるALT数 10市町に41名。(国籍:アメリカ、イギリス、ニュージーランド、アイルランド、カナダ)
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 支援金受給者:15名 支援者:6団体、3企業、3個人
県内企業の国際取引支援	県内企業の国際取引を支援するため、ジェトロ佐賀等と連携し、以下の事業を実施 ・貿易投資相談への対応 ・セミナー及び勉強会等の開催(28回) ・海外バイヤー等の招聘 ・フィリピン・インドネシア経済ミッション(H26.11.16~21) など	

課名	事業名	内 容
国際経済・交流課	海外拠点の運営	佐賀県国際戦略「世界とつながる佐賀県行動計画」に基づく各種事業を効果的に展開していくことを目的として、最前線で業務を行う海外拠点（瀋陽代表事務所・香港代表事務所・上海デスク）を運営した。 <海外拠点における主な取組み> ・物産、観光見本市等への出展 ・現地百貨店等での佐賀県PRイベントの開催 ・中小企業の海外展開支援 ・青少年交流や学校交流など国際交流支援 ・現地関係機関や関係者との関係構築 ・県内からの訪問者に対する現地活動支援
	国際交流支援拠点の運営	多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営。
国際戦略グループ	日本語学校支援事業	外国人と共生する地域づくりを加速し、海外から見て魅力・特色ある県になるとともに、県民や県内企業の海外展開、外国人活用の機運を醸成する契機とするため、外国人留学生を県内に呼び込む取組みを行った。 日本語学校教師育成への支援 日本語学校教師人件費に対する補助 日本語学校外国人留学生に対する奨学金の支援
おもてなし課	外国人観光客誘致対策事業(一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	(1) 外国人観光客誘致対策事業 韓国人観光客誘致 旅行博、商談会等への参加4件 （ハナツアー博覧会、2014年釜山VJ韓国市場商談会等） 観光説明会、商談会の開催2件（ソウル、釜山） セールスプロモーション13回（ソウル、釜山及び光州の旅行会社等） 旅行会社やメディアの招聘27件（ソウル及び釜山の旅行会社やメディア等） 視察団体の受入れ16件（農業視察、企業視察、教育関係視察等） 韓国語版ホームページ及びfacebookの運営 メディアミックスプロモーション（テレビ、新聞、ネット等による情報発信）
		中国人観光客誘致 旅行博、商談会等への参加7件 （上海世界旅遊資源博覧会、中国（広東）国際旅遊産業博覧会等） セールスプロモーション23回（上海及び広州等の旅行会社等） 旅行会社やメディアの招聘17件（上海及び広州等の旅行会社やメディア等） 視察団体の受入れ1件（教育関係視察） 旅行会社とのタイアップ11社 簡体字版ホームページ及び微博（ウェイボー）の運営 ファミリーマートとの連動プロモーションの実施
		台湾人観光客誘致 佐賀県観光商談会の開催（台北） セールスプロモーション9回（台北市、台中市、高雄市の旅行会社等） 繁体字版ホームページの運営 旅行会社やメディアの招聘3件（旅行会社やメディア等） 現地スタッフの配置、現地セールス 観光説明会、商談会への参加、開催5回（台北市）
		東南アジア地域観光客誘致 タイ国際旅行博にて映画「タイムライン」、テレビドラマ「きもの秘伝」等のロケ地PR（タイ） 旅行会社やメディアの招聘4件（タイの旅行会社やメディア等） ガイドブック等への掲載6件 観光博への出展4回（タイ、マレーシア）
		欧州地域観光客誘致 九州観光プロモーションに参加（イギリス、フランス） メディアの招聘・取材対応3件（イギリス・フランス等のカメラマン・記者） 観光博への出展1回（イギリス） 英語版ホームページの運営
	外国人観光客誘致対策事業(一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	(2) 受入環境整備事業 観光客受入観光整備支援事業 スマートフォンやタブレット等の急速な普及に伴い、ニーズが高まっている宿泊施設のWi-Fi化を進めた。（県内宿泊施設121施設） 国際会議開催経費補助 国際会議等のコンベンション開催経費の一部を助成することにより、コンベンションの誘致を促進した。（2件） コールセンター開設（1月～本格運用開始） 対応言語：英語、中国語、韓国語、タイ語 観光アプリ「DOGANSHITATO?」リリース（1月～） 対応言語 英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語、日本語

課名	事業名	内 容
観光戦略グループ	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	<p>《日韓海峡沿岸広域観光協議会事業》 北部九州三県及び山口県と韓国一市三道で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第21回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のため、台中国際旅行展覧会出展、韓国メディア・旅行会社等招聘、及び日韓共同広報物作成事業等を日韓共同で実施した。また、地域の伝統文化や自然環境を基盤とした観光商品の開発につなげるため、韓国・全羅南道の自然体験及びセミナー開催事業を実施した。</p> <p>日韓海峡沿岸広域観光交流会議 実務担当者会議 5月28日 韓国 釜山広域市 課長会議 7月17日 長崎県 長崎市 日韓共同広報物作成事業 事業内容：日韓8県市道の観光地や食等に関する広報物（繁体字版、英語版）を作成 台中国際旅行展覧会への日韓共同ブース出展事業 事業内容：日韓海峡沿岸地域への誘客を促進するため、台湾第3の都市、台中市で開催された「台中国際旅行観光展」に日韓共同観光ブースを出展し、両地域の観光PRを実施 開催時期：10月3日～10月6日 場 所：台湾 台中市 世界貿易センター メディア・旅行会社等招聘事業 事業内容：日本側4県の観光情報の発信及び旅行商品の造成を図るため、韓国4市道からメディア及び旅行会社を招聘し、日本側4県のウォーキングコースや観光地を案内 開催時期：12月15日～12月19日 場 所：日本側構成県 4県 韓国・全羅南道の自然体験及びセミナー開催 事業内容：スローツーリズム関係者セミナーの受講及び先進地視察 開催時期：11月11日～11月13日 場 所：韓国 全羅南道</p>
雇用労働課	産業人材ステーション事業	<p>知識や技術を持った求職者と即戦力あるいは将来的に事業の中核を担う人材（UJイターン人材、グローバル人材）を求める企業とのマッチング支援を行うことで、県内企業の人材確保を支援している。 H26実績：グローバル人材の県内就職2名（うち外国人留学生0名）</p> <p>グローバル人材とは、外国人留学生または、留学・海外でのビジネス・ボランティア活動等の経験があり、外国語に堪能な求職者。</p>
流通課	海外市場における佐賀ブランド確立事業	<p>海外バイヤー等の招へいによる佐賀県産品PR ・招へい国：香港、シンガポール、タイ、台湾、中国 見本市などでの試食宣伝活動を通じての佐賀県産品PR ・開催国：香港、シンガポール、台湾、中国 海外のレストラン、スーパーなどでの県産品プロモーション・販売活動 ・実施国：香港、アメリカ、シンガポール、タイ、フィリピン、中国 海外の雑誌、チラシ等を利用した佐賀県産品PR活動 ・実施国：香港、アメリカ、シンガポール、中国</p> <p>タイ国際食品展示会「THAIFEX」への出展 期 間：平成26年5月21日(水)～25日(日) 場 所：インパクトエキシビション&コンベンションセンター(バンコク) 内 容：参加企業7社で現地バイヤーとのマッチングを実施 EUバイヤー招聘商談会 期 間：平成27年2月16日(月)～18日(水) 場 所：佐賀県、鹿児島県 内 容：イギリス、フランス、スペインの有力な食品バイヤー9社を招聘し、2会場で商談会を開催。また、同時に県内産地視察も実施。 佐 賀会場(16日)：参加企業59社 鹿児島会場(18日)：参加企業31社</p>

課名	事業名	内 容
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	西日本四県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国一市三道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で資源管理の取組、養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議が開催された。 日 時：平成26年10月16日 場 所：大韓民国 全羅南道 麗水市 日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。 日 時：平成26年11月12日～11月14日 場 所：大韓民国 全羅南道 木浦市 参加者：7名（佐賀県2名） 日韓の水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗を放流した。 日 時：平成26年10月16日 場 所：大韓民国 全羅南道 麗水市 京島南方海域 放流数：クロソイ 2,000尾
男女参画・県民協働課	県民グループ派遣・招へい支援事業（県立男女共同参画センター）	男女共同参画の推進に必要な知識を深め、リーダーとしての資質を高めるための海外の研修、会議等への参加、または海外民間グループの先進活動事例の調査・海外民間グループとの交流を行う、県内民間グループに対して助成を行った。 助成グループ：1グループ（調査国：デンマーク）
	韓国全羅南道女性団体との交流支援事業（県立男女共同参画センター）	県が友好協定を締結し、多様な分野における交流を促進している韓国全羅南道と男女共同参画分野においても交流促進を図るため、今後継続した交流を予定している団体に対し、公募により、招へいによる全羅南道との交流促進を支援した。助成グループ：1グループ
こども未来課	教育改革推進特別経費補助事業	私立中学校・高等学校における英語教育の強化や国際交流の推進に必要な経費に対する補助を実施 ・外国人英語指導助手の配置 ・外国人留学生の受け入れ など
環境課	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）と北部九州3県（佐賀県、福岡県、長崎県）及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。 「微小粒子状物質(PM2.5)に関する高濃度時期の広域分布特性調査」の実施（平成26～27年度） 「微小粒子状物質(PM2.5)に関する高濃度時期の広域分布特性調査」の実施等に係る協議 ・平成26年7月9日～11日（佐賀県） ・平成26年10月22日～24日（全羅南道）
空港課	上海便の運航	有明佐賀空港と上海浦東国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と中国との国際交流の拡大を図った。 ・運航路線：有明佐賀空港 上海浦東国際空港 ・運航会社：春秋航空 ・運航便数：週3往復（月・水・土曜日） ・利用者数：41,304人（平成26年度）
	ソウル便の運航	有明佐賀空港と仁川国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と韓国との国際交流の拡大を図った。 ・運航路線：有明佐賀空港 仁川国際空港 ・運航会社：ティーウェイ航空 ・運航便数：週3往復 ・H26.10.24までは、水・金・日曜日運航 ・H26.10.26からは、火・金・日曜日運航 ・利用者数：38,371人（平成26年度）
港湾課	港湾振興事業	【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るため、台湾の船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスに取り組んだ。 ・国際定期コンテナ航路：4航路週5便（平成26年4月現在） （華南・韓国航路 大連・青島航路 上海航路 2便/週 釜山航路） ・H26外貿コンテナ取扱実績数：31,610TEU 【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港 グアム準州との物流拡大に取り組んだ。 ・唐津とグアム間の物流拡大を図るため、グアム準州関係者と地元の建設会社へのポートセールスを実施した。 ・グアム日本人会の秋祭りに県産品（みかん）を輸出した。

課名	事業名	内 容
教育政策課	世界で活躍する人材づくり事業	急速に進展するグローバル化に対応するため、中学生及び高校生に国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、国際社会で活躍する人材の育成事業を実施した。 ・中、高校生の海外留学等への助成 ・県主催の海外研修旅行実施（世界にはばたく未来のスペシャリスト派遣団） ・中学校英語暗唱大会及び高等学校英語スピーチコンテスト等副賞（海外研修旅行）の提供 ・イングリッシュキャンプ等の体験的英語活動の実施
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドから16人の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。
	外国語指導助手指導力等向上研修	外国語指導助手を対象に、効果的な語学指導ができるような知識・指導技術を習得させるため、日本人英語教師とともに合同の研修会を実施した。（11月11日）
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	○韓国国立晋州博物館との交流事業 ・当館は平成24年度に国立晋州博物館との学術協定を更新した。展覧会・協働調査・文化財の貸与など互いの自主事業に対して協力し合い、文化事業においても協力しあうことを目的としている。この協定にもとづき、平成26年度は当館職員が国立晋州博物館を訪問、27年度（当館）と28年度（晋州博）が計画している日韓交流史関わる展覧会について協議を行った。
		唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 〔概要〕 ・県立唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定された選択授業（2単位/学校 設定科目） ・本館と高校との協働により、年間を通じた授業を運営・展開 〔対象〕 環境文化系列文化学系2年生（26年度は4人） 〔授業回数〕 計28回 〔平成26年度の授業内容〕 ・学ぶ 名護屋城跡本丸御殿の発掘調査や遺物整理を体験。 ・つくる 常設展示での展示説明の発表。 ・伝える 文禄・慶長の役に関係するフィールドワークを実施し、小・中学生向けのリーフレット「なぜ？なに？名護屋城」を作成。
		韓国語講座 (ア)日時 前期 平成26年5月17日～8月9日 初級27名 中級 24名 後期 平成26年9月27日～平成27年1月8日 初級19名 中級 22名 (イ)会場 本館 図書閲覧室・鎮西町公民館 (ウ)講師 本館 国際交流員 李 敬賢（イ・ギョンヒョン）
		○韓国語スピーチコンテストinなごや (ア)内容 「第10回 韓国語スピーチコンテスト in なごや」 (イ)日時 平成26年10月27日(土) 13:00～16:00 (ウ)会場 本館ホール (エ)参加者 89名（うち出場者 44） スキット部門 中・高校生の部8組16名 一般の部5組10名 スピーチ部門 18名 〔協賛〕 株式会社カメラライン、JR九州高速船株式会社、韓国観光公社 〔後援〕 駐福岡大韓民国領事館
佐賀城本丸歴史館	外国語おもてなし事業	佐賀城本丸ボランティアによる来館者への展示解説の中国語、韓国語通訳館内表示についてのアドバイス 佐賀城本丸ボランティアを対象とした中国語、韓国語講座（月1回ずつ 参加者各5名程度）
	広報誘客事業	外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版利用案内リーフレットの配布（英語、中国語{簡体字、繁体字}、韓国語） 外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）80台

課名	事業名	内 容
自治修習所	県職員外国語習得支援	<p>県政に必要とされる外国語能力の高い職員を育成するため、その習得に対する各種自己啓発支援を実施</p> <p>国際派養成スクール<英・中・韓>（語学教室） （ベーシックコース：29名、アドバンスコース：24名）</p> <p>自己啓発活動支援事業（英語・中国語、韓国語等）（13名）</p> <p>国際派養成スクール受講者等に対する語学検定助成事業（16名）</p>
	県職員の国際的視野の拡大や識見の底上げ	<p>自治体経営に関連する国際的な問題について知識・情報を習得し、理解を深めるため、以下の研修を実施</p> <p>国際理解研修 講師：京都造形芸術大学教授 本間 正人 氏、65名参加（H26.10.24） 講師：NHK報道局国際報道プロジェクト長 草場 武彦氏 121名参加（H27.3.12）</p>

(2) 財団法人 佐賀県国際交流協会の事業 (平成26年度)

事業名	内容
情報収集・提供 高度化事業	インターネットとEメールを利用した情報の収集・提供を行うとともに、ホームページやフェイスブックを活用して、日本語・英語・中国語・韓国語での情報を発信した。
国際交流・協力情報誌 発行	民間国際交流団体等のイベントの広報、県内で活躍する外国人住民の紹介、国際交流・協力を実践している県内の団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を掲載し、国際交流・協力に関する情報の提供を行った。 全カラー4ページ 2,000部 年6回発行
国際理解講座事業	<p>国際理解講座 学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて留学生や県内外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の文化や習慣などを紹介した。 ・派遣件数：59件(76名) 受講者数：3,000名</p> <p>ランチタイムセミナー 昼休みを利用し、国際交流プラザ研修室にて佐賀県国際交流課に所属している国際交流員が多彩なトピックを簡単な英語で紹介した。 ・ジェーンのもっと知りたい! Lunchtime English (H26.4.1~H26.7.22) 全15回 参加者472名 ・Hannahの世界が広がる! English Seminars (H26.12.16~H27.2.10) 全4回 参加者138名 ・中国遼寧省の世界遺産紹介! (H27.2.17) 全1回 参加者23名</p> <p>国際交流料理教室 様々な国の方に本場の美味しい料理を習い、食を通して国際交流を深めた。 ・メキシコ料理交流会 (H26.8.27・28) 参加者29名 ・ペルー " (H26.9.10・11) 参加者31名 ・ネパール " (H26.10.17・18) 参加者43名 ・エジプト " (H26.11.13・15) 参加者44名 ・韓国 " (H26.12.11・13) 参加者52名 ・インドネシア " (H27.1.20・22) 参加者32名 ・アメリカ " (H27.2.24・26) 参加者38名</p> <p>あそなまぶ 様々な国の遊び、料理、本の読み聞かせ、歌などを通して、子供達に多文化に触れてもらい、楽しみながら学べる機会を設けた。 ・あそなまぶ!! ~Feel the world!!~ (H26.6.8~H27.2.1) 全4回 参加者144名</p>
さが国際フェスタ 月間2014	国際理解・啓発イベントとして、1か月を通して民間国際交流団体や在住外国人と共に様々なイベントを実施した。また、10月4、5日は(公財)佐賀未来創造基金とユマニテさがの共同イベント「Bookマルシェ+3」との同時開催を行った。10月4、5日で約900人、月間としては延べ2,000人の来場。(H26.10.4~H26.11.3)
国際交流団体等助成事業	民間団体等が行う国際交流・協力事業の活性化を図るため、事業経費の一部を助成した。 内訳：多文化共生2団体、国際交流3団体、韓国重点交流地域等2件、中国重点交流地域等2件
日本語グループ支援事業	地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援した。また、外部講師によるボランティア養成講座や交換留学生を対象にした日本語集中講座も実施した。
国際交流ボランティア 啓発・推進事業	<p>歴史文化紹介、ホストファミリー、ことば多言語、医療通訳、ことば日本語の分野でボランティア登録を実施。登録者 計383名 在住外国人の生活支援ボランティア養成講座の実施 ・ボランティア通訳研修会 (H27.3.14) 参加者86名 ・日本文化・歴史紹介ボランティア研修会 煎茶編 (H26.6.28) 参加者：日本人12名、外国人8名 おせち料理・お弁当編 (H27.1.25) 参加者：日本人6名、外国人11名 ・ホームステイ研修会 (H26.10.13・14) 参加者14名ホストファミリー10家族</p>
ボランティア養成のための マルチリンガル養成講座	<p>国際社会で活躍できる人材を育成するため韓国語、中国語、フランス語、英語を学ぶ機会を提供するとともに、在住外国人との交流の場を提供。 ・韓国語講座(全4期(42回)、参加者：93名) ・中国語講座(全4期(38回)、参加者：90名) ・英語で学ぶインドネシアの言葉と文化(全2期(20回)、参加者8名) ・フランス語講座(全3期(31回)、参加者：42名) ・英会話講座(全4期(70回)、参加者：123名) ・ニュースで学ぶ時事英語(1期(10回)、参加者：22名) ・体で覚える英会話~ヨガ編~(1期(12回)、参加者：30名) ・英語で学ぶハワイ語とフラの世界(1期(6回)、参加者：7名)</p>

海外使節団派遣事業費補助	南カリフォルニア県人会が実施した佐賀県出身の大学生をアメリカ西海岸に派遣し、国際的な人材を育成する事業に対して経費の一部を助成した。
佐賀県国際交流プラザ運営事業（佐賀県からの委託事業）	外国の新聞や雑誌、国際交流・協力に関する書籍、民族衣装などを備え、国際理解に関する情報を来訪者に提供した。
在住外国人支援体制整備事業（佐賀県からの委託事業）	<p>国際交流懇談会 多文化共生社会推進のための講演会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「在住外国人アンケート実態調査からみる、佐賀県のこれからの多文化共生推進」 講師（特活）多文化共生センター大阪代表理事 田村 太郎氏 (H26.7.29) 参加者53名 ・第2回「世界100ヶ国面白体験談」 講師 数学者・大道芸人 ピーター・フランクフル氏 (H26.9.9) 参加者70名 ・第3回「違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～」 講師 羽衣国際大学 准教授 にしゃんた氏 (H26.11.11) 参加者54名 ・第4回 「ダニエルの震災活動から学ぶ多文化共生」 講師 山形弁研究家 ダニエル・カール氏 (H27.1.27) 参加者66名
	<p>医療通訳ボランティア派遣事業 ボランティア活動の中でも特に専門的な知識を必要とする医療通訳ボランティアの養成講座を実施するとともに、在住外国人や医療機関からの依頼に対しサポーターの派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通訳派遣数 50回 ・医療通訳サポーター養成講座（初級コース）全6回 (H26.6.10～H26.7.15) ・医療通訳サポーター養成講座 全6回（H26.10.14～H26.12.16）
	<p>在住外国人相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談：県内に在住する外国人からの相談に随時対応。 ・法律相談：生活相談で弁護士による対応が必要と判断される件について、佐賀県弁護士会の協力を得て相談を実施。 ・健康相談：済生会唐津病院の協力を得て、隔月で実施。年6回

(3) 市町の事業(平成26年度)

市町名	事業名	事業の概要
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 ・釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 ・友好都市等職員交流事業 【佐賀市国際交流協会主催事業】 ・バルーンホームステイ事業 ・国際交流料理講座 ・ボランティア講座 ・軽スポーツ交流会 ・子育て支援事業 ・国際理解講座 ・初級日本語集中教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員(CIR)1名 ・私費留学生に対し、月額20,000円を助成(20名) ・奨学生交流会を開催(1.14 24名) ・姉妹短期大学・大学受入(5.25~6.9 9名) ・姉妹短期大学・大学派遣(3.13~3.29 12名) ・市民音楽交流受入WCO佐賀公演(9.2~9.5 56名) ・バルーンチーム受入(10.27~11.3 5名) ・新栄小生徒訪問団受入支援(10.25~10.27 24名) ・生徒訪問団派遣(8.24~8.31 15名) ・成人交流訪問団派遣(11.13~11.19 15名) ・研修員受入(1名) ・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ開催時に、海外選10カ国59名のホームステイ受入れ(10.24~11.6)を行い、日本の日常生活を体験してもらいながら交流を図った。(10.31~11.4 13カ国1地域101チーム参加 観客85万人) ・在住外国市民と日本人を対象にした料理講座を3回行った。(参加者数 92名) ・ボランティア登録者の意識啓発、交流を目的としたボランティア講演会を開催した。(参加者数 27名) ・スポーツ大会を開催し、在住外国市民との親睦を図った。(バドミントン交流会 参加者数 22名) ・他団体と共催で七夕会、クリスマス会、花見交流会を開催した。(参加者数 107名) ・多文化理解・多文化共生の推進を目的とした講座を2回開催した。(参加者数 45名) ・日本語を知らずに日本に来た方たちに対して、日本語集中講座を3回行った。(受講生 13名)
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市職員相互派遣 ・姉妹都市締結20周年記念 【友好・姉妹都市との交流】 ・韓国麗水市との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・西歸浦市からの派遣職員受入男性1名 約10ヶ月(H26.2.12~H26.12.26) ・西歸浦市からの派遣職員受入男性1名 約10ヶ月(H27.2.24~H27.12.28) ・麗水市からの派遣職員受入女性1名 1年間(H25.6.21~H26.6.20) ・麗水市からの派遣職員受入男性1名 1年間(H26.6.21~H27.6.20) ・韓国西歸浦市との姉妹都市締結20周年記念事業を唐津市で開催(H26.12.5~H26.12.6) ・麗水市オルレ視察団受入(H26.4.2~H26.4.3) ・麗水亀甲船祭りへの招待(H26.5.3~H26.5.6)(旅客船事故により中止) ・麗水市での新麗水市長就任式・旧市長退任式に出席(H26.6.30~H26.7.3)

市町名	事業名	事業の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国西歸浦市との交流 ・三都市交流囲碁大会 (唐津市、揚州市、麗水市) ・中国揚州市との交流 ・友好都市締結 30 周年記念 ・グアム訪問 ・グアム市場流通調査 【民間交流団体】 ・まつろ・百済武寧王 国際ネットワーク協議会 ・唐津中央ロータリークラブ ・唐津市国際交流協会 ・唐津ボランティアガイド 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 14 回麗水国際青少年祝祭に学生 3 名が参加 (H26.7.29～H26.8.3) ・麗水施策研究チーム唐津市視察受入 (H26.8.15～H26.8.17) ・麗水市長含む代表団が唐津くんち等視察受入 (H26.11.1～H26.11.4) ・西歸浦市老人会友好訪問団が唐津老人クラブとの交流 (H26.12.1) ・第 16 回日中韓友好姉妹都市囲碁交流大会を揚州市で開催 (H26.10.16～H26.10.19) ・揚州市訪問団、友好都市締結 30 周年記念事業詳細打合わせ 及び唐津市視察に伴い受入 (H26.6.11～H26.11.12) (H26.11.11～H26.11.12) ・中国揚州市と友好都市締結 30 周年記念事業を揚州市で開催 (H26.11.20～H26.11.23) ・グアム・ミクロネシア・アイランドフェア参加 (H26.4.19～H26.4.21) ・グアム・ホテル・レストラン EXPO 及びグアム市場流通調査 (H26.5.20～H26.5.23) ・グアム市場流通調査(グアム日本人会秋祭り) (H26.11.19～H26.11.24) ・第 60 回百済文化祭参加(公州市訪問) 35 名 (H26.9.25～H26.9.28) ・国際姉妹クラブ韓国麗水閑麗ロータリークラブとの寄贈車 両伝達式 11 名(H26.5.9) ・かもめ交流：日米学生かもめ交流派遣ホームステイ事業 7 名(H27.3.19～4.1) ・市内各種イベント時におけるボランティア通訳
鳥 栖 市	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖ツアイツ子ども交流事業 ・民間国際交流団体との懇談会 ・こくさいカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアイツ市の学生 10 名と引率 2 名を受入。ホームステイを 通じて交流を図った。(H26.5.25～6.8) ・市内の民間国際交流団体との会議を 3 回開催した。 ・市内の民間国際交流団体との共催で、日本人と外国人の交 流会を行った。(H27.2.8 開催、121 名参加)
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・職員海外派遣研修 日中友好協会 ・春節 ・中国語講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)2 名の活用 ・市町村振興協会関係でヨーロッパ(スウェーデン、フランス) へ研修派遣 (10/15～10/22、1 名) ・中国出身市内勤務者との交流 2/28 中国人 1 名 ・中国語講座 2 回/月 開催 4 名参加

市町名	事業名	事業の概要
伊万里市	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 青年海外協力隊 ・ 公務研修生受入事業 ・ 中国大連市友好訪問事業 ・ 中国大連市訪問団受入れ事業 ・ 台湾訪問事業 ・ 台湾訪問団受入れ事業 【民間団体等の主催事業】 伊万里市国際交流協会 ・ 初級中国語教室 ・ 初級韓国語教室 ・ 多文化交流事業 ・ 国際交流ひろば ・ 広報事業 日本語教室いまり ・ 日本語教室いまり 佐賀県伊万里港振興会 ・ 台湾ポートセールス いまり SGG(善意通訳者の会) ・ 民際交流の夕べ 伊万里市日中友好協会 ・ 日中友好餃子会 伊万里ライオンズクラブ ・ 冬季留学生交換事業 伊万里市剣道連盟 ・ 伊万里剣道大会 伊万里市子ども会連合会 ・ 韓国小学生ホームステイ事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 青年海外協力隊 帰国 (プータンより) 隊員の市長表敬 (H27.2.13) ・ 中国大連市より 1 名 (H26.11.4 ~ 1 年間) ・ 市長を団長に市民等 18 名による大連市友好伊万里市訪問団を派遣 (大連、上海 H26.7.9 ~ 7.12) ・ 大連市外事弁公室主任を団長とする 2 名が交流協議のため来伊 (H26.11.27 ~ 28) ・ 大連市旅遊局副局長を団長とする、中国大連市観光視察団 3 名が視察団として来伊 (H27.1.27) ・ 副市長を団長とし、国慶節及び台北故宮博物院特別展開幕祝賀会に出席 (H26.10.7) ・ 台華窯社長一行 20 名が来伊 (H26.4.22 ~ 23) ・ 台湾ライオン旅行社グループの企画会社より総経理ら 2 名が来伊 (H26.7.20) ・ 昼の部、夜の部各 24 回 受講者 25 名 (H27.3.3 ~ 半年間) ・ 全 24 回 受講者 16 名 (H26.6.5 ~ 11.20) ・ 「海辺と釣りを楽しもう! in 黒川町」 参加者 23 名 (H26.11.16) ・ 「国際交流ひろば in 伊万里中学校」講師にオーストラリア、インドネシアの方を迎え、3 年生 12 名が参加 (H26.9.14) ・ 「国際交流ひろば in 波多津東小学校」講師にカナダ、ベトナム、中国の方を迎え、全校生徒 31 名が参加 (H27.1.23) ・ 広報紙「交流の扉 第 25 号」を発行 (21,200 部、市内全世帯に配布) (H27.3 月末発行) ・ 在住外国人への日本語学習支援教室の立上げ 会員 8 名、在住外国人の参加 10 名程度 (H26.4.4 ~ 月 1 ~ 2 回開催) ・ 佐賀県伊万里港振興会台湾ポートセールス (H27.1.26 ~ 1.29) ・ 市内在住外国人及び市民 38 名が参加 (H26.11.29) ・ 日中友好餃子会で公務研修生を歓迎 市内在住の中国籍住民、市民等 29 人が参加 (H26.12.20) ・ マレーシアより高校生 1 名が来伊 (H26.12.16) ・ 国見台武道場にて行った大会に釜山の大学生 15 名程度が参加 (H26.11.30) ・ 伊万里小学校と韓国麗水市の双峰初等学校より訪日された、児童、校長等 23 名と学校での交流会を開催 (H26.8.21)

市町名	事業名	事業の概要
武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・観光誘致促進事業 <p>【民間団体等の交流事業】</p> <p>たけおワールドフレンズ(TWF) 23年度名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流事業 ・在住外国人との交流事業 <p>たけお日本語教室交流事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)6名の活用。(うち1名は市直接採用) <p>・「東アジア誘客3県都市連携会議観光説明会 in 台北」、「JNTO 訪日台湾教育旅行現地説明会」に参加。また訪日台湾旅行関係者を招聘し、九州東亜物語(武雄市・嬉野市・雲仙市・平戸市・福岡市)を紹介し、九州への観光誘致を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州運輸局と九州観光推進機構との「九州オルレ」事業で、韓国済州オルレ関係者などの視察をはじめとした団体アテンド等を随時行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・たけおワールドフレンズ派遣団(31名)がセバスポールを訪問(H27.3.25~4.4) <ul style="list-style-type: none"> ・たけお日本語教室の主宰により、料理交流会などを通して、市内外の外国人との交流会を開催。
鹿島市	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国全羅南道高興郡、釜山外国語大学校との交流 <p>・第40回高興郡民の日</p> <p>・第30回鹿島ガタリンピック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・鹿島市日韓こども交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・第30回鹿島ガタリンピックに参加 釜山外国語大学校副総長・教授・学生33名 (H26.5.23~H26.5.26) ・鹿島市制60周年記念式典に参加 高興郡交流団4名(H26.10.25~H26.10.26) <ul style="list-style-type: none"> ・大韓民国全羅南道高興郡から「第40回高興郡民の日式典」への招待を受け行政・議会8名で訪問。 (H26.10.30~H26.11.2) <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学の外国人留学生在がホームステイや地元高校生との交流会を実施。(13カ国30名) <ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手活用。(H26.7~1年間)2名 <ul style="list-style-type: none"> ・北鹿島小学校と大韓民国全羅南道高興郡大西小学校との交流を実施。大西小学校12名が北鹿島小学校を訪問。 (H26.12.23~H26.12.26)
小城市	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校外国語講師活用事業(学校教育課) ・市内保育園・幼稚園における国際交流(私立を含む)(こども課) <p>・おぎにほんご教室支援(企画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)の活用、民間講師6名 小・中学校の英語教育及び英語活動実施 ・佐賀大学留学生交流事業 幼稚園保育園児・保護者・地域の方等との餅つき、お正月遊び及び園行事体験(保育園2園、幼稚園2園) ・外国語指導助手(ALT)の活用、民間講師3名 幼稚園、保育園の英語活動実施 ・「おぎにほんご教室」(住外国人に日本語を教えるボランティアグループ)の支援。
嬉野市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・「訪韓の翼」参加補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)1名の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・県子連主催の事業に参加する子どもに、市子どもクラブ連合会から参加費補助

市町名	事業名	事業の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・遼寧省との学校交流 【民間団体の交流事業】 ・接客研修事業 (市日韓親善協会) ・日中友好の集い (嬉野市塩田町日中友好協会) ・塩田の集い (嬉野市塩田町日中友好協会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県がすすめている「世界につながる青少年交流事業」の一環として、嬉野高校訪問団が中国遼寧省遼陽市内の学校及び遼陽市政府等を訪問 (2014.5.13～17) ・県が進めている「世界につながる青少年交流事業」の一環として、塩田工業高校訪問団が中国遼寧省遼陽市内の学校及び遼陽市政府等を訪問 (2014.9.25～27) ・韓国馬山大学学生が、市内旅館及びホテルにて、日本語、文化及びホテル業、接客業の実務研修を実施した。 (2014.7.29～8.1 学生9名、教授1名) ・塩田町在住中国人と地域住民が、料理会食、スピーチ、ギター演奏、カラオケ大会などを通して交流した (2015.3.1) ・中国のことを知り、相互理解と友好を深めることを目的として、毎月2回、基礎的な中国語講座、日中の祝日や行事、時事ニュースの学習、意見交換などを実施した。
神 崎 市	国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・脊振中学校と山西大学附属中学校(中国)が、訪中と来日を相互に実施し交流を深めている。 平成26年8月17日～8月21日の4泊5日の行程で訪中。 (団員：生徒6名、引率5名)
基 山 町	民間団体の交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教育活動 10月16日 中国縁の地訪問 参加10人 九州国立博物館『台北 国立故宮博物院展』見学 ・会員親睦活動 10月26日 グランドゴルフ大会 参加8人
上 峰 町	平成26年度上峰町青少年驪州市訪問事業	上峰中学校の生徒10名が驪州市を訪問し、ホームステイ・学校間交流などを体験。(H26.8.21～8.24)
み や き 町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・国際交流食文化交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)3名の活用 ・国際交流会主催により、協同でマレーシア料理を作り、その後会食を通して交流会を行った。参加者45名【参加国3カ国：マレーシア・タイ・日本】(平成27年3月30日)

市町名	事業名	事業の概要
玄海町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・機張郡イワシ祭り訪問事業 ・韓国釜山広域市機張郡訪問事業 ・中学生海外ホームステイ体験事業 ・玄海町少年の船 ・韓国釜山外国語大学校生徒のインターンシップ受入 【民間団体の交流事業】 ・韓国釜山広域市機張郡訪問事業 ・ホームステイ受入事業 ・韓国釜山広域市機張郡訪問受入 ・釜山外大ホストファミリー派遣事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）1名の活用。 ・イワシ祭りは、H26年度は開催されていない。 ・イワシ祭り中止のため、郡訪問を実施。少年の船で利用している施設等視察。 期日：平成26年4月26日 参加者：5名 ・海外での生活を通して、語学力と豊かな国際感覚を身につけた、これからの地域を担う青少年を育成する。町内在住の中学生を対象として夏休みに海外へ派遣。（補助対象費用の8割を補助。派遣人員アメリカ1名、オーストラリア1名、イギリス2名） ・ホームステイや機張郡の郡庁舎訪問、小学校訪問、合宿、博物館の見学などを通して、文化や歴史の違いを体験し、知見を深めた。 期日：平成26年8月6日～8日 参加者：町内の小学生35名 ・釜山外国語大学校との今後の相互交流を更に深めていくため官学国際交流協定書を平成25年8月に締結した。その一環で、日本に係る職業を希望している釜山外国語大学校生徒をインターンシップ生として役場に受入れ、3か月間の研修を実施した。 期日：平成26年10月1日～12月26日 研修生1名 ・イベント中止のため、郡訪問のみ実施した。 期日：平成26年4月24日 参加者：4名 ・玄海町花火大会開催時、釜山外国語大学校の学生を受け入れ、ホームステイ、唐津青翔高校の学生との交流、本町の小学生への少年の船事前研修を実施した。 期日：平成26年7月25日～28日 訪問団：17名 ・玄海町産業文化祭開催時、韓国外食業機張支部の出店を支援し、韓国文化の紹介をした。 期日：平成26年11月15日～16日 参加者：13名 ・釜山外国語大学校生ホームステイのホストファミリーとなった方を韓国に派遣し、韓国の生活環境や文化を体感し、相互の理解を深めた。 期日：平成26年11月28日～30日 訪問団：10名

市町名	事業名	事業の概要
有田町	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)韓国陶磁文化協会をはじめとする韓国との交流事業 ・外国青年招致事業(ALT) ・外国青年招致事業(CIR) ・ドイツ語教室 ・ドイツ・マイセン市を訪問 ・保育園・ドイツふれあいタイム ・外国人対応セミナー ・国際交流員による来訪者案内 ・町内団体より講話依頼 【陶都有田国際交流協会事業】 ・英語ツアーの開催 ・ドイツのパンづくり教室開催 ・多国籍料理教室の開催 ・国際交流団体の集い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会長ら関係者参列(H26.5.4) ・外国語指導助手(ALT)1名活用 ・国際交流員(CIR)1名の活用 ・ドイツ語に興味がある有田町民などにドイツ語教室を開催(毎月2回) ・姉妹都市締結35周年を記念し、有田町民26名がマイセン市を訪問し記念事業を行った。(H26.9.24~9.30) ・町内の保育園4園で、年長児、年中児を対象に毎月1回ドイツのことば、文化を紹介(H26.4~H26.7、H26.10~H26.3) ・有田へ来られる外国人のお客様への対応のスキルアップを図るために有田観光協会が主催した英語講座に、講師として派遣(H27.1月~3月8回) ・ドイツなどからの来訪者へ町内観光案内等を行う。 ・町内高校や民間団体へ向け、講話を行った。 ・「秋の有田陶磁器まつり」、「有田雑のやきものまつり」期間中に日本在住の外国人を対象に国際交流員による英語ツアーを行った。 ・国際交流員により、親子を対象にドイツのパンづくり及びドイツの習慣などの紹介を行った。 ・有田町国際交流員により、ドイツの料理教室を行った。 ・町内にて国際交流に関する交流を図っている団体の活動報告等を行った。
大町町	外国青年招致事業	・外国語指導助手(ALT)1名の活用
江北町	外国青年招致事業	・外国語指導助手(ALT)1名の活用
白石町	外国青年招致事業	・外国語指導助手(ALT)1名の活用

(4) 県関連の県民海外派遣事業

平成26年度実施事業

事 項	人員	派 遣 先
中学生・高校生海外留学等助成事業	52	米国、カナダ、イギリス、ドイツ等
世界にはばたく未来のスペシャリスト派遣団	20	米国カリフォルニア州
英語コンテスト等優秀者向け海外研修旅行	11	米国ハワイ州

平成25年度までの実施事業

事 項	年次(平成)	延人員	派遣先
高校物理教師セルン派遣	21、22、23	3	スイス
有田窯業大学校中国研修旅行	23、24	18	中国
佐賀県中学生・高校生海外研修旅行	23	8	オーストラリア
日韓海峡沿岸青少年交流事業	12、14、16、18	48	韓国
日韓海峡沿岸住民親善イベント	7、9、13、15 16、19	149	韓国(全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
南米友好訪問団派遣事業	12、17	79	ブラジル、アルゼンチン
南米県人会訪問青年交流事業	14、16	10	ブラジル、ペルー
佐賀県女性の翼	7~11、13~15	95	中国、オーストラリア、ニュージーランド、スウェーデン、ドイツ、ハンガリー、アメリカ、カナダ、イギリス、ノルウェー
佐賀県男女共同参画の翼	16~18	35	スウェーデン、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリア
ふれ愛の翼	7~14	801	タイ、台湾、中国、香港、インドネシア
ヤングネットワークウイング事業	9~14、16、17	268	中国、韓国
佐賀青年出合いの旅事業	9~11	104	シンガポール、マレーシア
佐賀県アジア経済ミッション	7~11	77	中国、ベトナム、フィリピン、マレーシア
日中女性友好交流事業	12	6	中国(北京・貴陽・上海)
有田窯業大学校中国研修旅行	7~17	308	中国、韓国
佐賀県農村青年等海外派遣研修	7~16	206	欧州、オーストラリア、ニュージーランド、中国、タイ、マレーシア、韓国、アメリカ
農業大学校生海外派遣研修	7~12、14~22	750	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、オランダ、ドイツ
済州道へのみかん調査・交流団派遣事業	14	30	韓国(済州道)
林業後継者海外派遣	6、7、10	3	欧州、アメリカ、カナダ

事 項	年次(平成)	延人員	派遣先
日韓海峡沿岸水産関係交流事業	7~20、22	43	韓国(全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
佐賀県漁業青年海外派遣研修	7~15	10	アイルランド、イタリア、フランス ノルウェー、イギリス、スウェーデン、 ドイツ、ベルギー、スペイン、オランダ、 ポルトガル、スイス、ロシア、ギリシャ
翔べ!さがっ子アジアへの未来飛行	9~13	500	マレーシア、シンガポール
日韓少年文化交流事業	6、9、11、13、15、 17	119	韓 国
日韓海峡沿岸地域振興団体交流支援事業	10、12	18	韓 国
2000年女性会議補助事業	12	20	アメリカ
高校生海外留学研修事業	12~14	30	アメリカ
ミャンマー・タイ・カンボジア経済 ミ ッ シ ョ ン	25	23	ミャンマー(ヤンゴン)、タイ(バンコ ク)、カンボジア(プノンペン、シアヌ ークビル)
中学生・高校生海外留学等助成事業	25	100	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ等
世界にはばたく未来のスペシャリスト 派 遣 団	25	18	オランダ、ベルギー
英語コンテスト等優秀者向け 海 外 研 修 旅 行	25	8	オーストラリア、シンガポール

(5) 外国語によるパンフレット等の作成状況

(平成27年3月現在)

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	「We♥Saga」	観光・物産PRのパンフレット	中(繁)		佐賀県香港代表事務所
	Guide to SAGA	県内ガイド	英、韓、 中(繁・簡) 日本語併記	24	(一社) 佐賀県観光連盟
	日本九州SAGA	県内マップ	英、 中(繁・簡) 日本語併記	12	(一社) 佐賀県観光連盟
	My旅・佐賀	県内マップ	韓	B2両面 (16折り)	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀九州梦开始的地方	県内ガイド	中(簡・繁)	20	(一社) 佐賀県観光連盟
	慢歩佐賀	県内マップ	中(簡)	12	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀牛 和牛的骄傲	佐賀牛の紹介	中(簡・繁)	12	(一社) 佐賀県観光連盟
	温泉特輯	温泉の紹介	中(簡)	33	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀観光手帖	県内ガイド	タイ語	4	(一社) 佐賀県観光連盟
	ADVENTURE SAGA	ロケ地の紹介等 Vol.1~6	タイ語	18	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA, JAPAN TOURISM GUIDE	県内ガイド	英	A4 (三つ折)	(一社) 佐賀県観光連盟
	Omotenashi Saga	県内ガイド	韓	A5 98	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀春秋気氛	県内ガイド	中(簡)	A4 19	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀県立九州シンクロ トロン光研究センター (SAGA Light Source)	九州シンクロトロン光研 究センターの紹介パンフ レット	日英併記	10	新産業・ 基礎科学課

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
	佐賀牛	商品紹介	英、タイ、 中(繁)	1 (両面)	流通課
	佐賀海苔	商品紹介	英	1 (両面)	流通課
	九州国際重粒子線がん 治療センタープロジェ クト	プロジェクト紹介	英、韓、 中(簡・繁)	6	粒子線治療 普及グループ
	有明佐賀空港ホーム ページ	有明佐賀空港に関す る情報を掲載	英、中、韓		空港課
	特別史跡 「吉野ヶ里遺跡」	吉野ヶ里遺跡紹介 リーフレット	英、韓、中	リーフレット	吉野ヶ里公園 管理センター
	佐賀県吉野ヶ里遺跡 「北墳丘墓」	吉野ヶ里遺跡紹介 リーフレット	英、韓、中	リーフレット	吉野ヶ里公園 管理センター
	名護屋城博物館案内	施設案内	英、韓	2 (四つ折)	名護屋城博物館
	名護屋城跡探訪マップ	城跡マップ	英、韓	2 (四つ折)	名護屋城博物館
	名護屋城博物館展示案 内	展示案内	英、韓	31	名護屋城博物館
	佐賀県立宇宙科学館	施設紹介	英、中、韓	リーフレット	宇宙科学館
	佐賀城本丸歴史館 SAGA-JOHON-MARU	施設案内リーフレッ ト	英、韓、 中(簡・繁)	A3 (六つ折)	佐賀城本丸歴史館
		館内案内音声ガイド システム	英、中、韓		佐賀城本丸歴史館
	佐賀県窯業技術 センター紹介	案内パンフレット	英	A4 10ページ	窯業技術センター
	佐賀県立九州陶磁 文化館	館案内	英、韓、独、 中(簡・繁)	三つ折	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁 文化館	館案内	英	9	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁 文化館	図録「土と炎」 (販売用)	英	A4 31ページ	九州陶磁文化館
	佐賀県立博物館・ 佐賀県立美術館 案内	館内案内	英、中、韓	A3両面 (八つ折)	佐賀県立博物館 佐賀県立美術館
	唐津港 (Port of Karatsu)	唐津港(物流)紹介	英	A4 8ページ	唐津港 利用促進協議会
	伊万里港 (Port of Imari)	伊万里港(国際コン テナ定期航路)紹介	英、中	A4 8ページ	伊万里港振興会

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀市	Saga City Tourism Information	観光紹介	英、中、韓	A4両面 (二つ折り)	佐賀市観光振興課
	Saga City Tourism Information (アプリ版)	観光アプリ紹介	英、中、韓	100mm*200mm (両面)	佐賀市観光振興課
	SAGA CITY GUIDE MAP	佐賀市内の地図及び各種情報	英、中、韓	1	佐賀市国際交流協会
	メディカルハンドブック	医療関係のハンドブック	英、中、韓	28	佐賀市国際交流協会
	Tourist Guide to Saga city	佐賀市観光ガイド	中(簡・繁)	B2両面 (4回折) B6仕上げ	(一社) 佐賀市観光協会
	佐賀城下ひなまつり	ひなまつりの紹介	英、中、韓	A4両面	(一社) 佐賀市観光協会
	SAGA MAP	佐賀市の観光地図	英	A3	(一社) 佐賀市観光協会
	佐賀錦	佐賀錦の紹介	英、中、韓	A4両面 (三つ折)	佐賀錦振興協議会
	肥前通仙亭	肥前通仙亭の紹介	英、中、韓	A4両面 (三つ折り)	高遊外売茶翁 佐賀地域協議会
唐津市	唐津観光パンフレット ダイジェスト版	唐津市観光案内パンフレット	韓	18 (片観音開き)	唐津市観光課
	Karatsu City Map	唐津市観光マップ	英	A2両面 二つ折 観音開き	(一社) 唐津観光協会
	唐津城	施設案内	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	曳山展示場	展示物の解説	英、韓、中 (簡) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	旧高取邸	館内用	英、韓、中 (簡) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
鳥栖市	2012鳥栖市勢要覧	市勢要覧	英、中、韓、独 (一部見出しのみ日本語と併記)	44	情報管理課

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
	How to dispose of garbage and natural resources	ゴミの出し方パンフレット	英、中	19	市民協働推進課
伊万里市	旅のはじまり	観光案内リーフレット	英、韓、中(簡、繁)	1(両面)	観光課
	大川内山みて歩きマップ	大川内山窯元案内地図	英、韓、中(簡、繁)	1(両面)	観光課
武雄市	武雄ガイドブック	武雄市観光案内ガイドパンフレット	英、韓、中(簡、繁)	B3中折入式 8分割	観光課
	九州オルレ武雄コース	ウォーキングマップ	韓	両面ジャバラ 4山折り	観光課
	武雄TAKEO.SPA	観光マップ	英、韓、中(簡、繁)	A3両面	武雄市観光協会
鹿島市	鹿島佐賀 ようこそ鹿島へ	観光案内パンフレット	英、韓、中(簡、繁)	A2折畳式 両面印刷	商工観光課
小城市	小城公園マップ	小城公園 観光案内地図	英、中	A3(A4・2枚)	商工観光課
嬉野市	嬉野 ぶらりまっぷ	観光パンフレット	英、韓、中	A2 12面 屏風折り	うれしの温泉 観光課
	嬉野 ランチ&カフェマップ	観光案内	英、韓、中	14面 屏風折り	うれしの温泉 観光課
	嬉野 Happy Trip	観光パンフレット	英、韓、中	6面 屏風折り	うれしの温泉 観光課
有田町	ARITA -THE CERAMIC COUNTRY	有田観光案内パンフレット	英・独・韓	20	観光商工課 陶都有田 国際交流協会
	有田観光ガイドマップ (有田スタイル)	有田観光案内地図 観光地の紹介	英、韓、中(簡、繁)	16	商工観光課 有田観光協会
	有田散策マップ	有田観光案内地図	英、韓、中(簡、繁)	1	商工観光課 有田観光協会

3. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

姉妹友好提携について

姉妹友好提携

姉妹友好提携交流とは、国境を越えた都市と都市、学校と学校、あるいは団体と団体が、姉妹縁組みをすることにより、多様な分野で、厚みのある交流を進め、友好親善を深めると共に相互発展を図ることを目的としています。

姉妹都市交流は、第2次世界大戦後、戦争で荒廃したヨーロッパを救おうという機運がアメリカで高まり、ニューヨーク市とヨーク市のように、お互いに縁のある欧米の都市間に友好関係が結ばれたのが始まりとされています。

その後この運動は、幅広く国際親善、文化交流、相互理解をも含めるようになり世界的に普及発展しました。

「姉妹都市」と「友好都市」

「姉妹都市」と類似した用語として、「友好都市」が使われる場合があります。そもそも「姉妹都市」は英語の“Sister City”の訳語として使われるようになった言葉ですが、「姉妹」という言葉には上下があるということで、主に中国との交流において、互惠平等を尊重する立場から、「姉妹都市」の用語を敬遠して、「友好都市」という言葉を用いる場合が多くみられます。

提携の手続

提携のきっかけ

姉妹友好提携に至るきっかけや、相手方の選定については、一定の基準のようなものがあるわけではありません。過去の実例を見ても、その選定の理由は様々です。

歴史的結び付き

地理的・風土的な類似性

経済・技術交流

文化・スポーツの交流

各種人的交流

合意書への調印を急ぐことはなく、まず相互訪問や情報の交換等を通じてお互い相手を知り合うことです。その上で可能な交流分野を見極めながら、長期にわたる交流の見通しを持つことが重要で、この間の交流実績が息の長い交流の成否を決するといえます。

提携の手順

姉妹友好提携に至る手順についてもそのきっかけが様々であるように、様々な形態があります。一般的な手続の手順は次の通りです。

相手と市との各種交流の積み重ね及び情報の収集

姉妹都市提携の意向打診

交流の基本方針について相手方との協議

提携協議書の内容確定
合意書への署名・調印式
姉妹提携に基づく交流開始

提携を行う際、議会の議決または承認を必要とするかについては、法的にはこれを義務付ける規定はありません。しかし、姉妹友好提携は重要な政策決定であり、あらかじめ議会の承認を得て、手続きを進めた方が望ましいでしょう。

提携書の作り方

姉妹友好提携の手続きは、合意書の署名、調印という形式がとられるのが一般的です。合意を証する文書の名称は、提携書、盟約書、協定書、議定書、共同声明、コミュニケなど様々な用語が使われています。

提携書の内容

姉妹友好提携は、地方自治体あるいは各団体の自主的事業として行うものですから、合意書の内容については、自由に作成して構いません。一般的にはあまり詳細、具体的な表現はせず、ごく抽象的に友好親善・相互理解の増進を謳ったものが多いようです。交流を長続きさせるためにも、なるべく概括的、弾力的な対応ができる内容にしておいた方が良いでしょう。

交流の進め方

- ・ 姉妹友好提携を形式だけではない息の長いものとするためには、提携当初は行政が主導して交流を進めていきながらも、次第に民間レベルでの交流へと移行させていくことが重要です。
- ・ 友好親善交流のみならず、自らの地域、学校、団体や相手の地域、学校、団体の抱える諸問題を共に考え、協力して解決していこうという両地域の相互発展を図る交流に取り組むことが大切です。
- ・ 双方の経費の負担区分をはっきりさせると共に、できるだけ経費のかからない工夫をすることが重要です。

全国の状況

ア 全国自治体別友好姉妹提携数

・ 都道府県	40 都道府県	142 組
・ 市町村	市・区	1,225 組
	町・村	294 組
	合計	1,661 組

イ 全国相手国別姉妹提携数

(平成27年3月31日現在)(単位:件)

地域名	国・地域名	都道府県	市区	町村	合計
北米	アメリカ合衆国	24	346	70	440
	カナダ	1	42	27	70
中南米	ブラジル	11	35	11	57
	メキシコ	2	5	3	10
	パラグアイ		2		2
	コスタリカ		2		2
	チリ		1		1
	パナマ		1		1
	ボリビア	1			1
	ペルー		1	1	2
	フランス	6	37	6	49
ロシア	9	31	3	43	
ベラルーシ		1		1	
ウクライナ		2		2	
ドイツ	5	40	9	54	
オーストリア		27	5	32	
イタリア	5	25	7	37	
イギリス	1	8	4	13	
ギリシア		5	3	8	
オランダ		10	2	12	
スイス		9	3	12	
スペイン	3	8		11	
ポルトガル		7		7	
ベルギー		8	0	8	
スウェーデン		2	3	5	
ノルウェー		2	1	3	
チェコ		2	2	4	
ハンガリー		4	1	5	
クロアチア		3		3	
セルビア・モンテネグロ		1		1	
ブルガリア		1		1	
フィンランド		2	3	5	
ルーマニア		2	1	3	
デンマーク		5	1	6	
ラトビア		1	1	2	
リトアニア		1		1	
スロベニア		1		1	
エストニア		1		1	
スロバキア			1	1	
アイルランド		1		1	

地域名	国・地域名	都道府県	市区	町村	合計
大洋州	オーストラリア	6	78	24	108
	ニュージーランド		28	13	41
	マーシャル諸島			1	1
	パラオ	2			2
アジア	中国	37	276	42	355
	韓国	14	114	26	154
	フィリピン	1	13	4	18
	台湾		4	10	14
	スリランカ		3		3
	ネパール		3	1	4
	タイ	2	4	1	7
	インド	3	2		5
	マレーシア		2		2
	インドネシア	4	2	1	7
	モンゴル	1	4		5
	トルコ		5	2	7
	イスラエル		1		1
	ブータン		1		1
	アラブ首長国連邦	1			1
	ベトナム	2	1		3
	カンボジア			1	1
	アフリカ	エジプト	1		
カメルーン			1		1
チュニジア			1		1
合計		142	1,225	294	1,661

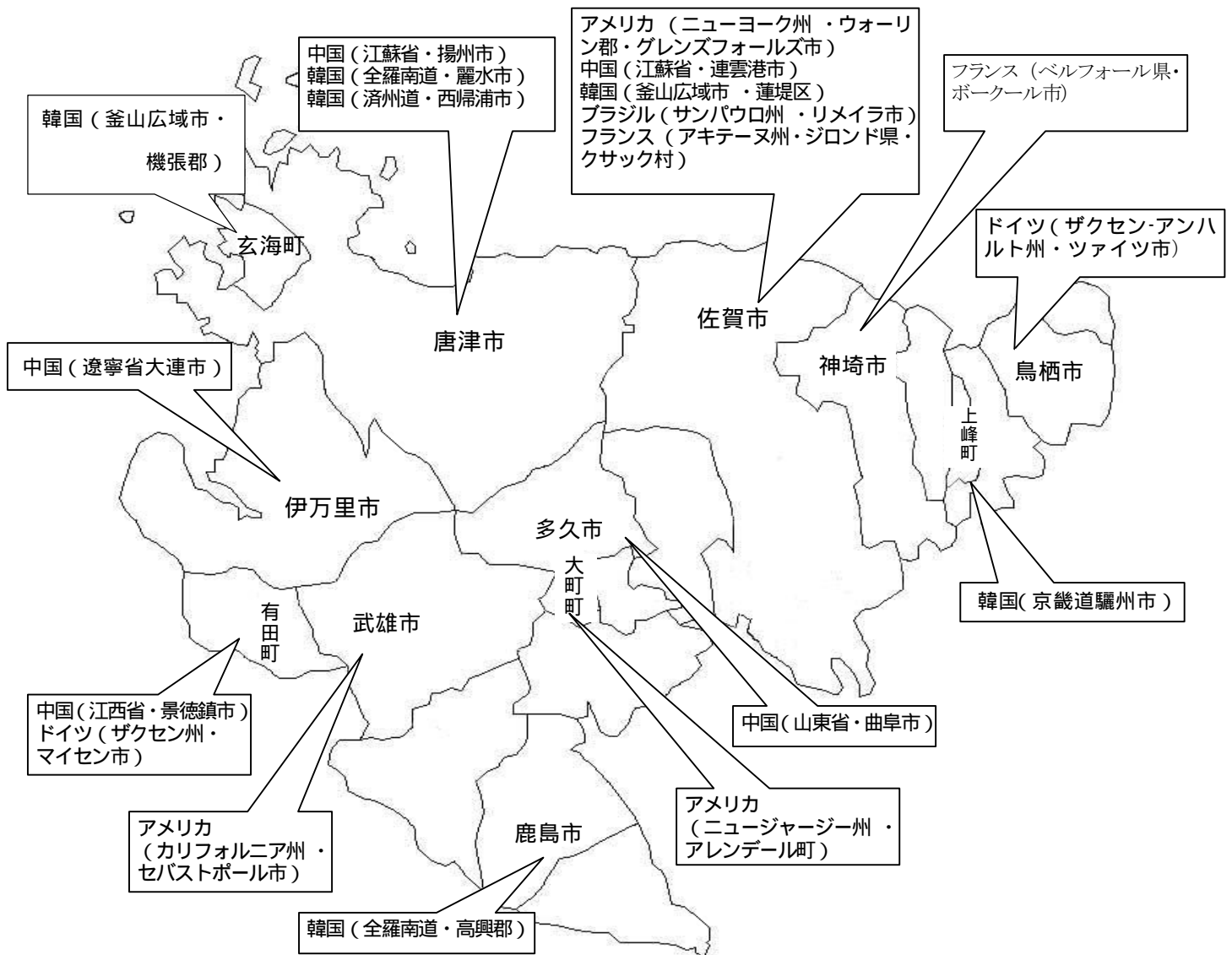
(財)自治体国際化協会

□ 相手国・地域数 64か国・地域(うち都道府県提携分 22か国)

佐賀県の状況

ア 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国	佐賀県	市町												計
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	神埼	上峰	玄海	有田	大町	
アメリカ		1					1						1	3
中国		1	1		1	1						1		5
韓国	1	1	2					1		1	1			7
フランス		1							1					2
ドイツ				1								1		2
ブラジル		1												1
計	1	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	20



イ 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成26年度の主な交流状況
佐賀県	韓国 全羅南道 2011年1月25日	平成4年から日韓海峽沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成8年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から13名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を15名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。	朝鮮半島南西端に位置し、西は黄海に面している。入り組んだ地形に2,000余りの島々が存在する。温暖な気候で干潟があるなど自然が豊か。農業、カキや海草の海産物の生産が盛んである。	<ul style="list-style-type: none"> 全羅南道職員を佐賀県に受入1名(H26.4~H27.3) さが桜マラソンへの選手団受入5名(H26.4) 佐賀県小学生サッカーチーム派遣2チーム、32名(H26.8) 全南出身著名漫画家招聘、取材受入許英萬(ホヨマン)氏(H26.10) 全南前知事招聘受入朴峻瑩(パクジユン)氏(H26.11) 第23回日韓海峽沿岸県市道交流知事会議(全南・麗水市開催)(H26.11)
佐賀県 (参考)	*中国 遼寧省 2011年10月25日	平成7年から交流を開始。平成11年からは職員交流を開始し、佐賀県から8名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から11名の職員の受入れを行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。	中国東北地域の南部に位置している。省都である瀋陽市は東北部最大の都市であり、南部には港湾都市の大連市がある。主産業は重工業。	<ul style="list-style-type: none"> 遼寧省職員を佐賀県に受入1名(H26.4~H27.3) さが桜マラソンへの選手団受入5名(H26.4) 瀋陽日光百貨店ジャパンフェア開催 県産品輸出・販売促進(H27.3)
	*中国 貴州省 2012年2月13日	平成11年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する覚書を交わした。	中国南部の内陸に位置し、平均海拔は1,100mで平地が少なく、独特の地形を成す。主産業は農業で、茅台酒(マオタイ酒)は全国8大名酒として有名。鉱工業も盛んである。	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県職員を貴州省に派遣1名(H26.4~H27.3) さが桜マラソンへの選手団受入8名(H26.4) 青少年訪問団受入12名(H26.8) 「第4回中国(貴州)国際酒類博覧会」出展(H26.9)

*中国(遼寧省)については「友好パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国(貴州省)については、「友好交流に関する覚書」を交わしている。

ウ 市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成26年度の主な交流状況
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及びウォーリン郡 1988年9月23日	1986年(S61)年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史文化面でも共通点が多いことから提携がなされた。	ニューヨーク州の北部に位置する、人口約7万人の美しいリゾート地	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹短期大学・大学受入5.25~6.9(9名) 姉妹短期大学・大学派遣3.13~3.29(12名) 市民音楽交流受入WC O佐賀公演9.2~9.5(56名) バルーンチーム受入10.27~11.3(5名)
	韓国 釜山広域市・蓮境区 1998年10月9日	民間のゲートボール交流が始まりで、10年来の交流を続けている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して友好都市の締結をした。	釜山広域市中央部に位置する人口約24万人の行政区。区庁、市庁がある。	<ul style="list-style-type: none"> 新栄小生徒訪問団受入支援10.25~10.27(24名)
	中国 江蘇省・連雲港市 1998年11月27日	徐福がきっかけで、1988年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。	江蘇省北部・黄海に面した港湾都市 上海と青島の間地に位置する港湾都市 徐福の生誕地とされている。人口460万余り。	
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 1981年4月16日	双方に工場を持つ「味の素(株)」が仲介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、I諸富町共に農業を中心とした商工都市であるという点から、お互いに多面的交流をすることにより、お互いの交流にも役立つということから提携した。	サンパウロ市の北方約250kmの内陸地にあり、人口28万人で主産業はオレンジ、コーヒーなどの農業が主。	

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成26年度の主な交流状況
佐賀市	フランス アキテーヌ州 ジロンド県 クサク村 1988年4月19日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹提携がなされた。	フランス共和国パルドー市の北西37km、ジロンド川沿いのメドック地方に広がるぶどう園地帯の真ん中に位置し、面積20km ² 、人口約1,200人、面積の約4割がぶどう園で、ワイン生産を中心とした農業が展開されている。	・生徒訪問団派遣 8.24～8.31（15名） ・成人交流訪問団派遣 11.13～11.19（15名）
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 1982年2月22日	1972年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、1978年の第1次から昭和56年の第4次まで、市、市議会市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、締結に至った。	南京から長江に沿って100キロ下流にある人口約460万人の古都、鑑真和上ゆかりの地。	・第16回日中韓囲碁交流大会を揚州市で開催（H26.10.16～H26.10.19） 代表団：麗水市10名、揚州市10名、唐津市10名 ・友好都市締結30周年記念事業の打ち合わせのため揚州市から来唐11名（H26.6.11～H26.11.12）（H26.11.11～H26.11.12） ・揚州市との友好都市締結30周年記念事業を揚州市で開催 唐津市5名（H26.11.20～H26.11.23）
	韓国 全羅南道・麗水市 1982年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり締結に至る。	韓国南海岸のほぼ中心に位置し、海上交通の拠点となっている美しい港町 人口約30万人。 BIE認定2012麗水世界博覧会を開催	・麗水市から麗水市派遣職員1名が来唐、研修（H26.6.21～H27.6.20 約1年間） ・麗水市オルレ視察団受入 12名（H26.4.2～H26.4.3） ・麗水市での新市長就任式・旧市長退任式出席 3名（H6.6.30～H26.7.3） ・第14回麗水国際青少年祝祭に学生3名が参加（H26.7.29～H26.8.3） ・麗水施策研究チーム唐津市視察受入3名（H26.8.15～H26.8.17） ・麗水市長含む代表団が唐津くんち及び施設視察のため来唐8名（H26.11.1～H26.11.4）
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 1994年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたのが始まり。その後ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など似た両市は姉妹都市締結に至る。	韓国西南端の済州島にある最南端の港町 国際的なリゾート地で人口15万8千人。	・西歸浦市へ唐津市職員1名の派遣（H26.04.11～H26.10.15 約6ヶ月間） ・西歸浦市から西歸浦市派遣職員1名が来唐、研修（H26.2.12～H26.12.26）約10ヶ月間 ・西歸浦市との姉妹都市締結20周年記念事業を唐津市で開催 総勢72名（H26.12.5） ・20周年記念事業トルハリバン除幕式 総勢47名（H26.12.6） ・西歸浦市老人会友好訪問団が唐津老人クラブとの交流 来唐29名（H26.12.1）
唐津市 (参考)	中国 大連市旅順口区 2004年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのため訪れたのがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至る。	大連市の6つの区の1つで、遼東半島の最南端に位置し、自然の景観に恵まれ、観光地としても力を入れている。人口26万5千人。	
	アメリカ合衆国 グアム準州 2013年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済、教育、文化、スポーツ、観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流意向書の締結に至る。	太平洋上にあるアメリカ合衆国の準州、人口18万5千人、年間116万人の観光客が訪れ、その収入の90%が日本。観光が主要経済となっている。	・グアム・ミクロネシア・アイランドフェア参加10名（H26.4.19～H26.4.21） ・グアム・ホテル・レストランEXPO及びグアム市場流通調査4名（H26.5.20～H26.5.23） ・グアム市場流通調査（グアム日本人会秋祭り）7名（H26.11.19～H26.11.24）

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成26年度の主な交流状況
鳥 栖 市	ドイツ ザクセン-アンハルト州・ツァイツ市) 友好交流都市協定 2012年5月18日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フツペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(5.17~5.22)	ツァイツ市は、ザクセン-アンハルト州の南に位置し、人口約3万人。 第2次世界大戦前は、乳母車やピアノの工場があり、また、東西ドイツ再統一以前は、中部ドイツの化学及び褐炭地域として栄えていた。現在は、整ったインフラ構造と交通の便によるツァイツ工業団地と南砂糖株式会社 ^{南砂糖株式会社} が地元経済での有力企業。	・ツァイツ市の学生10名と引率2名を受入。ホームステイを通じて交流を図った。(H26.5.25~H26.6.8)
多 久 市	中国 山東省・曲阜市 ^{キョフツ} 1993年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が1708年に孔子廟(現在呼称多久聖廟)を完成させた。孔子の誕生地である曲阜市との交流を図るため、1984年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の姉妹都市締結に至った。	山東省南部に位置し、孔子の生まれ故郷とされる。人口61万人の都市。孔子を祭った孔廟や孔子一族の墓地である孔林などがある。	
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 2007年5月26日	1987年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流20周年の節目にあたり友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ友好交流都市の締結をした。	遼東半島の南端に位置し中国東北部最大の港湾を有する。人口約600万人。	・中国大連市友好交流事業として、市長を団長に市民等18名による大連市友好伊万里市訪問団を派遣 (大連・上海H26.7.9~H26.7.12) ・公務研修生受入事業として、大連市より1名受入れ (H26.11.4~1年間)
武 雄 市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 1985年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏(女性)との交流があり、その中で交流親善の話しがあり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。	カリフォルニア州の北東部に位置する人口7千人余りの市、気候は温暖でりんご・ブドウの産地として有名である。	・たけおワールドフレンズ派遣団(31名)がセバストポールを訪問(H27.3.25~4.4)
鹿 島 市	韓国 テヨラナムド、コフン 全羅南道・高興郡 1997年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、1988年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。	高興郡は人口約7万人。自然の観光資源を活かした風光明媚な田園地域で、産業面では、ゆず、にんにく、キウイ、米、海苔、カキ、アゲマキなどの農水産業が盛んであり、観光面では多島海海上国立公園が有名。韓国の宇宙センターが建設されている。	・高興郡交流団4名が鹿島市制60周年記念式典参加に伴う訪日(H26.10.25~H26.10.26) ・鹿島市交流団8名が第40回高興郡民の日式典参加に伴う訪韓(H26.10.30~H26.11.2) ・北鹿島小学校と大韓民国全羅南道高興郡大西小学校との交流事業実施(大西小学校12名が北鹿島小学校を訪問、H26.12.23~H26.12.26)
神 埼 市	フランス ベルフォール県 ポークール市 1996年10月27日	1936年フランスの飛行家アンドレ・ジャビー氏が脊振山中に墜落し、村民が救出したことから交流が始まり、1995年6月には、ポークール市を友好訪問、そして1996年10月27日に姉妹都市の提携を結んだ。	フランス東部のジュラ山脈の麓(標高500m)に位置する人口5,000人、面積5km ² の町。近隣に自動車企業(プジョー)の工場がありベッドタウンとして繁栄している。	・2014年10月にポークール市よりセドリック市長、ジャビー家などを招き、神崎市千代田文化会館にて「アンドレの翼」の朗読会と脊振中学校生徒によるアンドレ・ジャビー氏を題材にした「演劇」を上演。 また、ジャビー氏の遭難地訪問や神崎市内の視察を行い、脊振小学校や遭難地付近住民との交流会も開催した。 (H26.10.28~11.4)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成26年度の主な交流状況
上峰町	韓国 キョンギドウォン 京畿道驪州府 2004年11月11日 (再締結) キョンギドウォン 京畿道驪州市 2013年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、2001年から行政及び議会による相互交流を行い、親睦を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、2004年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め2004年11月に友好都市締結。また、驪州府が驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流増進協定を締結。	京畿道の南東部に位置し、人口約10万5千人、面積608km ² 、美しい自然と広い平野、文化芸術が調和をなして発展してきた都市。陶磁器、米、さつまいも、梨、椎茸等の産地として韓国国内でも有名。	上峰中学校の生徒10名が驪州市を訪問し、ホームステイ・学校間交流などを体験(H26.8.21～8.24)
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 2009年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していこうということで友好交流協定を締結した。	韓国南東部に位置する海沿いの街。人口10万で水産資源、観光資源が豊富。	<ul style="list-style-type: none"> ・機張郡イワン祭り訪問事業 平成26年度は中止のため郡庁訪問のみ ・韓国釜山広域市機張郡庁訪問 期日：平成26年4月26日 参加者：5名 【民間団体の交流事業】 ・韓国釜山広域市機張郡庁訪問 期日：平成26年4月24日 参加者：4名 ・韓国釜山広域市機張郡庁訪問受入 期日：平成26年11月15日～16日 参加者：13名
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 1979年2月9日 (再締結) 1991年9月21日 2006年9月23日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結。また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために1991年に、そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した2006年に再締結を締結した。	ザクセン州のエルベ川沿いに位置し、首都ベルリンより南へ約140kmの距離にある。ヨーロッパ陶磁器発祥の地としてその名は世界的に知られており、高級磁器の代名詞にもなっている。気候は温暖であり、12世紀初頭よりブドウ栽培が盛んでマイセンワインの産地としても有名な所である。マイセン周辺は大聖堂など有名な建造物も多く、文化財保護豊世域となっており、画家や写真家等の恰好の対象となるほど美しく、緑豊かな町である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ・マイセン市を訪問 姉妹都市締結35周年記念事業として、町民26名がマイセン市を訪問し、マイセン市民と交流を図った。 (H26.9.24～9.30)
	中国 江西省・景德鎮市 1996年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易従来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結する。	中国江西省の東北部に位置し、千数百年の陶磁器の歴史を持つ陶磁器の街、即ち陶都として知られている。14世紀始めに染付技法が景德鎮で完成され、景德鎮は世界の陶磁器の中心産地へと急成長を遂げた。	
大町町	アメリカ ニュージャージー州 アレンデル町 1996年8月2日	平成3年7月にアレンデル町出身のダニエル・モス氏がALTとして大町中学校に着任したことから、中・高校生のアレンデル町派遣先が始まり、平成8年8月に友好都市提携の締結に至った。	アレンデル町は、ニュージャージー州にありニューヨークとは車で約1時間の距離。人口約6,000人、面積7,68km ² で、緑豊かな清楚な住宅地である。	

(注) 提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

エ その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成26年度の主な交流状況
鹿島市	韓国 釜山外国語大学校 2003年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学校との交流は、第8回(1992)「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ300名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。	釜山広域市にある、4年生総合大学。1982年開校。外国語と外国文化に精通した人材を養成することにより、国際社会に貢献する学生を輩出することを目的とする。	・第30回鹿島ガタリンピック参加に伴う訪日。釜山外国語大学校副総長、教授、学生33名(H26.5.23~H26.5.26) ・鹿島市交流団8名が表敬始末問(H26.10.30~H26.11.2)
有田町	韓国 (社)韓国陶磁文化協会 1996年8月28日 (再調印) 2007年5月3日	(社)韓国陶磁器文化協会と有田については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や、韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど、深い交流をしており、今後とも陶磁器文化交流と発展、日韓友好親善増進に相互協力するため友好団体の盟約を締結。		・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会関係者参列(H26.5.4)

教育機関の姉妹友好等提携交流

ア 大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	アメリカ合衆国	アンダーソン大学	S53.12.27
	大韓民国	全南大学校	H3.3.8
	タイ王国	カセサート大学	H8.12.6
	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学デイビス校	H9.7.24
	大韓民国	安東大学校	H9.12.11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10.5.15
	英国	グラスゴー大学	H10.7.17
	タイ王国	コンケン大学	H10.9.28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10.12.8
	大韓民国	国民大学校	H11.3.29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11.4.12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11.11.30
	大韓民国	釜山大学校	H12.2.2
	大韓民国	木浦大学校	H12.8.3
	中華人民共和国	中国農業大学	H12.10.17
	ベトナム社会主義共和国	ハノイ農業大学	H12.12.7
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13.3.9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13.4.27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13.8.9
	ルーマニア	アレクサンドルイオンクザ大学	H13.9.11
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学	H13.11.1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13.11.6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13.11.12
	大韓民国	釜慶大学校	H14.4.18
	大韓民国	済州大学校	H14.8.9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14.9.13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14.10.8
	中華人民共和国	華東理工大学	H15.4.1
	バングラデシュ人民共和国	ラジャヒ大学	H15.5.18
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15.7.1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15.7.2
	オーストラリア	ラトロープ大学	H15.7.31
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ農科大学	H16.8.28
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16.9.6
	台湾	国立政治大学	H16.9.13
	台湾	国立中興大学	H16.9.14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17.3.31
	大韓民国	光州女子大学校	H17.7.14
	カナダ	マニトバ大学	H17.8.8
	タイ王国	チェンマイ大学	H17.9.9
	台湾	国立台北大学	H17.10.6
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18.3.3
台湾	国立東華大学	H18.6.30	
大韓民国	培材大学校	H18.7.11	
ベトナム社会主義共和国	ノンラム大学	H18.11.9	
パキスタン・イスラム共和国	コハート科学技術大学	H19.4.27	
大韓民国	牧園大学校	H19.5.16	
インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19.6.11	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
	大韓民国	大邱大学校	H19.6.26
	台湾	元培科技大学	H19.7.6
	ベトナム社会主義共和国	ハノイ国家大学外国語大学	H19.8.6
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19.8.24
	中華人民共和国	西南政法大学	H19.10.31
	パキスタン・イスラム共和国	ペシャワール大学	H19.11.10
	カンボジア王国	王立農業大学	H19.11.21
	タイ王国	アジア工科大学	H19.11.21
	中華人民共和国	浙江科技大学	H19.12.25
	タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20.1.3
	アメリカ合衆国	パシフィック大学	H20.2.29
	中華人民共和国	遼寧大学	H20.4.30
	台湾	国立連合大学	H20.8.8
	インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21.9.4
	台湾	文藻外語学院	H21.9.4
	ラオス	ラオス国立大学	H22.1.26
	カナダ	ウィルフリッド・ロリエ大学	H22.7.13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22.7.26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22.9.30
	ベトナム社会主義共和国	ピン大学	H23.2.21
	インドネシア共和国	セベラスマレット大学	H23.3.28
	インドネシア共和国	ジュアングダ大学	H23.7.15
	インドネシア共和国	マラン州立大学	H23.12.7
	インドネシア共和国	ボゴール農業大学	H23.12.27
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	H24.3.13
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校工科大学	H24.3.13
	アメリカ合衆国	スリッパリーロック大学	H24.4.4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24.8.28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24.11.30
	タイ王国	タマサート大学	H25.2.13
	バングラディッシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25.2.20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25.3.11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25.8.26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25.11.8
	インドネシア共和国	ジャカルタ国立大学	H26.2.11
	インドネシア共和国	ブラウイジャヤ大学	H26.4.14
佐賀大学 (学部間)	*文化教育学部		
	アメリカ合衆国	リッチモンド大学	H4.3.1
	中華人民共和国	華東師範大学 教育技術学院	H9.3.10
	英国	グラスゴー大学	H9.3.18
	アメリカ合衆国	デンヴァー大学 人文学部	H9.3.26
	大韓民国	釜慶大学校 人文社会科学大学	H12.12.14
	フランス共和国	N E M O国際共同研究グループ	H14.7.1
	大韓民国	江南大学校 第 大学	H15.9.22
	中華人民共和国	浙江大學 城市学院	H17.1.12
	*経済学部		
	中華人民共和国	中国社会科学院 世界經濟政治研究所	H6.6.30
	*医学部		
	中華人民共和国	南昌大学 医学院	H5.2.22
	中華人民共和国	大連医科大学	H10.10.29

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
	中華人民共和国	第四軍医大学	H12.10.31
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 医学部	H14.2.14
	*理工学部		
	英国	グラスゴー大学	H5.6.28
	タイ王国	カセサート大学 工学部	H8.12.2
	スリランカ民主社会主義共和国	モラツワ大学	H8.12.13
	英国	ベルファーストクイーンズ大学	H9.12.16
	英国	イースト・アングリア大学工学部	H10.1.22
	チェコ共和国	プラハ化学技術大学	H10.7.20
	スロバキア共和国	コメニウス大学 自然科学部	H11.6.17
	スロバキア共和国	コメニウス大学 数学物理学部	H11.6.17
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学 衛生土木工学部	H11.10.5
	バングラデシュ人民共和国	クルナエ工業技術大学	H12.3.1
	大韓民国	慶北大学校 師範大学数学教育科	H18.10.30
	カナダ	コンコルディア大学 工学情報科学部	H13.7.27
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14.11.27
	ネパール王国	トリブバン大学 理工学部	H15.3.2
	大韓民国	大邱カトリック大学校自然科学大学・工科大学	H15.3.21
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15.3.28
	バングラデシュ人民共和国	ジャフジャラル大学 応用科学技術学部	H15.5.25
	中華人民共和国	浙江大学 建築工程学院	H15.9.11
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	H16.6.1
	中華人民共和国	西北大学 化学学部	H16.12.24
	大韓民国	延世大学理学部	H17.4.11
	中華人民共和国	清華大学 理学院	H18.3.22
	大韓民国	高神大学校 自然科学大学	H19.11.23
	中華人民共和国	武漢大学数学与統計学院	H21.12.24
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25.2.19
	インドネシア共和国	マラン国立ポリテクニクス	H25.11.29
	*理工学部		
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学部	H27.3.27
	中華人民共和国	中国科学院 長春応用化学研究所	H10.6.23
	*農学部		
	大韓民国	全南大学校 農科大学	S62.4.27
	タイ王国	コンケン大学 農学部	S63.6.29
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学 農学部	H6.9.20
	マレーシア	マレーシアプトラ大学 農学部	H1.3.16
	タイ王国	カセサート大学 農学部、農工学部、理学部、工学部	H7.6.7
	カナダ	セントメリーズ大学 科学部	H8.7.23
	マレーシア	マレーシア科学大学 生物科学部	H8.8.7
	大韓民国	済州大学校 農科大学	H9.6.16
	大韓民国	木浦大学校 食品産業技術研究センター	H9.8.28
	大韓民国	牧園大学校 テクノ科学大学	H17.12.1
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H17.12.1
	*農学研究科		
	英国	インペリアルカレッジロンドン大学生物学科	H5.7.26
	*海洋エネルギー研究センター		
	大韓民国	釜慶大学校 新環境先端エネルギー機械研究センター	H16.9.17
	マレーシア	マレーシア工科大学海洋温度差エネルギー研究センター	H26.2.20
	中華人民共和国	大連理工大学海洋科学技術学院	H27.1.21

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日	
	*産学・地域連携機構			
	中華人民共和国	上海交通大学 高度技術企業化室	H13.8.15	
	*シンクロトロン光応用研究センター			
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14.4.1	
	*シンクロトロン光応用研究センター 低平地研究センター			
	中華人民共和国	上海応用物理研究所 上海シンクロトロン光施設	H23.4.6	
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18.3.6	
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18.4.1	
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22.9.9	
	オーストラリア連邦	シドニー大学 地盤工学研究センタ	H16.6.21	
	*低平地研究センター国際交流推進センター			
	中華人民共和国	同済大学土木行程学院地盤工学科	H16.7.18	
	中華人民共和国	上海交通大学 土木工学科	H18.7.7	
	大韓民国	ソウル国立大学海洋研究所	H19.1.18	
	台湾	文藻外語学院 日本語学科	H20.3.17	
西九州大学 西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22.8.25	
	アメリカ合衆国	アデイロンダックコミュニティーカレッジ	H22.11.23	
	大韓民国	牧園大学校	H22.12.14	
	大韓民国	恵泉大学校	H23.10.7	
	タイ王国	ブラパー大学	H24.8.27	
	台湾	国立宜蘭大学	H24.11.7	
	台湾	元培大学	H24.11.8	
	スロベニア	リュブリャナ大学	H25.8.5	
	大韓民国	社会福祉法人 蓮花村	H25.9.24	
	台湾	宜守大学	H25.10.11	
	中華人民共和国	安徽三聯学院	H27.3.23	
	九州龍谷短期大学 * 大学間	大韓民国	善隣大学	H17.3.25
		大韓民国	釜山女子大学	H19.3.6
中華人民共和国		凱里学院	H20.5.8	
中華人民共和国		盤錦職業技術学院	H20.7.12	
中華人民共和国		貴州民族学院	H20.5.9	
大韓民国		釜山経商大学	H23.11.9	
大韓民国		東義科学大学	H23.7.25	
中華人民共和国		遼寧師範大学国際教育学院	H24.12.17	
佐賀県立有田窯業大学校	ドイツ	ハレ芸術デザイン大学	H17.5.16	
佐賀女子短期大学 * 大学間	アメリカ合衆国	ウィスコンシン州立大学リバーフォールズ校	H10.12.18	
	アメリカ合衆国	アデイロンダックコミュニティーカレッジ	H8.8.9	
	大韓民国	慶州大学校	H11.11.12	
	大韓民国	蔚山科学大学	H22.1.15	
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15.10.26	
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17.6.29	
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20.7.13	

イ 高等学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H26年度の交流状況
佐賀農業高等学校	2014 (H26)年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	2012年に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2014年、国際交流協定締結に至った。	2014年6月29日～7月2日に、生徒12名と教職員4名が渡航。 2014年8月11日～12日、交流相手校から生徒15名、引率4名が来校。 2014年10月1日～11月28日に、相手校から3名を短期留学生として受け入れた。約2ヶ月間、農業3学科の農学科目の実習に参加し、実験・実習を通して本校生徒・職員と交流を深めた。
嬉野高等学校	2014 (H26)年5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	2013年に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。	2014年5月13日～5月17日 生徒5名と職員3名が渡航し、授業体験や交流夕食会を通して、交流を深めた。
唐津商業高等学校	2012 (H24)年7月23日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道麗水市)	2012年に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、国際交流協約書を締結した。	2014年7月8日～10日、ハンゲルを履修している本校生徒3年生11名と教員4名が相手校を訪問した。麗水工キスガ場見学や授業体験、調理実習などを行い交流した。 2014年11月10日～11日、観光学日本語専攻の生徒26名と教員5名の訪問を受けた。授業体験や調理実習、部活動見学などを行い交流した。
龍谷学園 龍谷高等学校	1998 (H10)年3月27日 レイクジョージ高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀北高等学校	1992 (H4)年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀東高等学校	1990 (H2)年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀商業高等学校	1995 (H7)年7月4日 ハードリー・ルザーン高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
北陵高等学校	1990 (H2)年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
有田工業高等学校	2005 (H17)年8月2日 韓国陶芸高等学校	有田焼の祖とされる李參平は半島出身でもあり、日韓の陶芸を学ぶ高校生同士が交流することにより技術の向上を図る。	生徒作品交流(本校文化祭における陶芸高校生作品展示)
佐賀女子高等学校	2002 (H14)年1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、2001年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。2002年1月に来校。提携校協定を結ぶ。	2014年8月16日～20日の日程で、生徒15名、職員3名が善徳女子高校を訪問。内2日間は善徳女子高校生徒宅にホームステイを実施。文化交流を行う。
佐賀学園高等学校	1981 (S56)年4月1日 永登浦(ヨンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	佐賀新聞社の紹介により締結	
唐津青翔高等学校	2008 (H20)年1月14日 釜山外国語大学校 (韓国)	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。	2014年7月に、学生15名、職員2名を受け入れた。
牛津高等学校	2013 (H25)年12月 リセ オテルリ (フランス)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。	渡航期間：2015年3月1日～3月24日 渡航生徒数：生徒4名 フランスの職業リセ「リセ オテルリ」へ、3週間程度の短期留学生を派遣した。リセ・オテルリ校敷地内にある寮で生活しながら、同校に併設されたレストランの料理を作る実習、パティシエの勉強、語学などに取り組んだ。

ウ 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H26年度の交流状況
佐賀県立 武雄青陵中学校	2015 (H27)年3月4日 麗水(ヨス)華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	2014年度より、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。	2015年1月29日に交流相手校を受入。2015年3月3日～5日に相手校を訪問した。
佐賀市立 昭栄中学校	1990 (H2)年11月17日 ハードリー・ルザーン中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 鍋島中学校	1990 (H2)年11月17日 クイーンズベリー中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 城南中学校	1998 (H10)年3月27日 レイクジョージ中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 成章中学校	1990 (H10)年11月17日 ウォーレンズパーク中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 城西中学校	1989 (H元)年5月22日 グレンフォールズ中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
唐津市立 第一中学校	1996 (H8)年11月16日 麗水(ヨス)中学校 (韓国 全羅南道)	1982年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結をうけ、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。	

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H26年度の交流状況
武雄市立 山内中学校	1993 (H5)年3月 カリフォルニア州 セバストポール市 ブルックハイブン中学校 (アメリカ)	1985 (S60)年3月にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックハイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後の2011 (H23)年4月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。	2015年3月 武雄市 セバストポール市 (中学生18名(内本校生徒5名)、大人3名 計21名)
神埼市立 背振中学校	1989 (H元)年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)	締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	現在は、神埼市の国際交流事業として訪問交流が引き継がれており、今年度は、本校から生徒6名と職員2名、市からは市長他市職員2名が訪問した。
上峰町立 上峰中学校	2004 (H16)年8月27日 大神(テイソン)中学高等学校 (韓国)	1980年より県道愛好者による民間交流が始まる。2001年に上峰町長及び議員がヨジユ郡を表敬訪問。ヨジユ郡からの来町も繰り返された。2003年、日韓友好上峰町青少年ヨジユ郡訪問事業開始。2004年姉妹校締結。	1年おきに相互に10名~20名の学生の訪問と受け入れを交代して行い、交流を深めている。今年度は、生徒10名が韓国ヨジユ市を訪問。

エ 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H26年度の交流状況
佐賀市立 新栄小学校	2002 (H14)年11月30日 兎岷(トヒョン)小学校 (韓国 釜山)	本校創立30周年記念行事の一環として、新栄校区教育文化振興会が主催し、佐賀市と姉妹都市の提携をしている蓮堤区から兎岷小学校の代表児童を招待して交流を開始した。その翌年より、新栄小学校と兎岷小学校の児童が隔年でお互いの学校を訪問し、交流が続いている。児童は、お互いにホームステイを行っている。	2014年11月25日~27日の2泊3日で、兎岷小学校児童14名、学校長はじめ、保護者10名が本校を訪問。体育館落成式典や授業への参加を中心に交流した。児童は本校児童の家にホームステイを行った。
佐賀市立 勸興小学校	1989 (H元)年5月22日 サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 芙蓉小学校	1989 (H元)年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 久保泉小学校	1990 (H2)年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 金立小学校	1989 (H元)年5月22日 ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 嘉瀬小学校	1990 (H2)年11月17日 ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 鍋島小学校	1990 (H2)年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立 循誘小学校	1990 (H2)年11月17日 ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
唐津市立 名護屋小学校	1999 (H11)年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年2000年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っている。隔年で相互訪問を行っている。	2014年は、相互訪問を予定していたが、4月にセウォル号事件のため、中止となった。
鹿島市立 北鹿島小学校	2010 (H22)年8月4日 大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(ゴフン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受け入れを行うようにしている。	2014年12月23日~26日(3泊4日) 大西初等学校から5・6年生12名、引率8名、計20名が訪問された。滞在中は、ホームステイをし、日本文化体験(茶道)や餅つき体験を通して交流を行った。
伊万里市立 小中一貫校 滝野校	ダーピースクール(アメリカンスクール) 長崎県佐世保市	1996 (H8)年度に文部省の「英語活動」教育研究開発校指定を受けたのを機に、交流を始めた。	1997年より毎年1回、お互いの学校を隔年毎に訪問しあい、ふれあい交流を行っている。

オ 幼稚園

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H26年度の交流状況
エミール幼稚園	1995 (H7)年4月2日 ビッグクロス幼稚園 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	

カ その他の交流状況

○ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・商工会議所

団 体 名	相 手 団 体 名	国 名	提携年月日
佐 賀ロータリークラブ	南釜山ロータリークラブ	韓 国	S48. 3.24
佐賀西 "	岡 山 "	台 湾	S54. 2.27
佐賀北 "	豊原西北 "	"	H 4. 6. 9
唐 津 "	麗 水 "	韓 国	S45.11. 6
	大 甲 "	台 湾	S51.11.28
唐津中央 "	麗水閑麗 "	韓 国	H11.11.11
唐津西 "	浦 頂 "	"	S49. 6.13
	麗水左水營 "	"	S52. 3.16
	唐津 "	"	S59. 4. 2
唐津東 "	員林 "	台 湾	S50. 2.20
鹿 島 "	北斗 "	"	S55. 3.13
佐賀ライオンズクラブ	晋州ライオンズクラブ	韓 国	S48.10.17
佐賀葉がくれ "	台北市第一（中央）国際獅子會	台 湾	S46. 2. 9
佐賀若楠 "	ソウル平和ライオンズクラブ	韓 国	S58. 8. ~
鳥栖養基 "	新馬山 "	"	S55. 1.19
嬉 野 "	鎮 海 "	"	S54. 3.17
佐賀青年会議所	新營青年会議所	台 湾	S60. 5.24
唐津 "	麗水 "	韓 国	S46. 5. 5
唐津商工会議所	麗水商工会議所	韓 国	S52. 5.10

○社会福祉法人めぐみ厚生センター・韓国社会福祉法人「手と手」(韓国)

・提携年月日 平成3年7月8日

(H21以降の交流はなし)

松浦文化連盟・麗水文化団体(韓国芸術文化総連号会麗水支部)

・提携年月日 昭和56年12月13日

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ボリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

市町別移住者数

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	フィリピン	ニュージーランド	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により17ヶ所(13ヶ国)に県人会があり、各種活動を行っている。

H26.5月現在

地域	国名	団体名(日本語)	団体名(現地名称)	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	SOCIEDADE CULTURAL SAGAKEN BRASILEIRA	1955 (S.30)	260名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S.51)	133名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S.32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S.55)	95名
	ボリビア	ボリビア佐賀県人会	ASOCIACION.DE.PRIV,SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S.35)	27名
北米	アメリカ	南加佐賀県人会	Southern California Saga Kenjin Kai	1905 (M.38)	120名 (78家族)
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S.54)	25名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H.11)	約50名
		北加佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H.21)	16名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H.2)	28名
	中国	大連佐賀県人会	大連がばい会	2013 (H.25)	17名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H.14)	34名
	韓国	ソウル県人会		2013 (H.25)	15名
	シンガポール	佐賀県人会	葉隠会	1984 (S.59)	30名
	マレーシア	佐賀県人会		2013 (H.25)	17名
	インドネシア	ジャカルタ県人会		2005 (H.17)	20名
ヨーロッパ	フランス	パリ佐賀県人会		2013 (H.25)	21名

4. 国際化推進のための環境づくり

(1) 人材育成

語学指導等を行う外国青年招致事業

(JETプログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び財団法人自治団体国際化協会(CLAIR)の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員(CIR)、外国語指導助手(ALT)等に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。

ア 年度別招致状況

JET青年招致人数推移

	県			市 町 等			合 計		
	CIR	ALT	計	CIR	ALT	計	CIR	ALT	計
6年度	2	22	24	3	52	55	5	74	79
7年度	2	24	26	2	52	54	4	76	80
8年度	2	25	27	2	55	57	4	80	84
9年度	2	26	28	1	56	57	3	82	85
10年度	2	28	30	2	57	59	4	85	89
11年度	3	29	32	2	60	62	5	89	94
12年度	3	29	32	2	62	64	5	91	96
13年度	3	30	33	2	63	65	5	93	98
14年度	3	30	33	3	64	67	6	94	100
15年度	3	30	33	3	64	67	6	94	100
16年度	3	30	33	3	64	67	6	94	100
17年度	3	29	32	3	64	67	6	93	99
18年度	3	28	31	3	60	63	6	88	94
19年度	3	27	30	3	50	53	6	77	83
20年度	3	14	17	2	41	43	5	55	60
21年度	3	9	12	2	35	37	5	44	49
22年度	3	6	9	2	33	35	5	39	44
23年度	3	16	19	2	31	33	5	47	52
24年度	3	16	19	2	30	32	5	46	51
25年度	4	16	20	2	26	28	6	42	48
26年度	4	16	20	2	25	27	6	41	47

「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(2～18年度、各年度ALT1名を配置)を含む。

イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況（平成 26 年度）

国際交流員（C I R）

配 置 先		人数(名)
県	佐賀県国際経済・交流課	4
市 町 等	佐賀市国際交流室	1
	有田町商工観光課	1
合 計		6

外国語指導助手（A L T）

配 置 先		人数(名)	配 置 先		人数(名)
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16	市 町 等	有田町教育委員会	1
市 町 等	唐津市教育委員会	11		大町町教育委員会	1
	武雄市教育委員会	5		江北町教育委員会	1
	鹿島市教育委員会	2		白石町教育委員会	2
	吉野ヶ里町教育委員会	1			
	玄海町教育委員会	1		合 計	41

（国際経済・交流課調）

外国語教育

ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数（1ヶ月以上）

	学 校 名	H24	H25	H26		学 校 名	H24	H25	H26
1	鳥 栖				20	唐 津 南			
2	三 養 基	1		1	21	伊万里農林			
3	神 埼				22	佐 賀 農 業			3
4	佐 賀 東				23	鳥 栖 工 業			
5	佐 賀 西	1		1	24	佐 賀 工 業			
6	佐 賀 北				25	唐 津 工 業			
7	致 遠 館	1	1		26	有 田 工 業	1		1
8	小 城		2		27	塩 田 工 業			
9	唐 津 東				28	鳥 栖 商 業	2		
10	唐 津 西				29	佐 賀 商 業	1		1
11	巖 木				30	唐 津 商 業			
12	唐 津 青 翔				31	伊万里商業			
13	伊 万 里	1			32	杵 島 商 業	1	1	
14	武 雄		1	3	33	鹿 島 実 業			2
15	白 石				34	神 埼 清 明			
16	鹿 島				35	多 久	1		
17	太 良				36	嬉 野			
18	牛 津				受け入れ校数		9校	5校	7校
19	高 志 館		1		留学者数		10人	6人	12人

(県教育庁教育政策課)

イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況（平成26年度）

	学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数（定員）	コースの 設置年
1	致 遠 館	人文コース	3×1学年	120×1学年	2006年

(県教育庁学校教育課)

ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況（平成 26 年度）

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門（3年生選択 / 2単位） ハングル入門（3年生選択 / 2単位）	1992年 2005年
唐 津 商 業	ハングル入門（3年生選択 / 3単位）	1992年
三 養 基	中国語（2・3年生選択 / 2単位）	1996年
佐 賀 北	中国語入門（3年生選択 / 4単位） ハングル入門（3年生選択 / 4単位）	1996年 2001年
嬉 野	中国語入門（1・2年生選択 / 2,4単位）	2001年
多 久	中国語入門（2・3年生選択 / 2単位）	2005年
唐 津 青 翔	韓国文化（2・3年生選択 / 4単位） 韓国語（1・2年生選択 / 4単位） 韓国語（3年生選択 / 2単位）	2005年
佐 賀 農 業	韓国語入門（3年生選択 / 2単位）	2014年

（県教育庁学校教育課）

エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況（平成 26 年度）

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
実 施 な し			

（県教育庁学校教育課）

オ 海外との交流状況（姉妹友好等提携交流を除く）

学校名	相手校	交流の経緯	H26の交流内容
鹿島実業高等学校	上海工商信息学校 (中国 上海)	2012年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	受入日：2014年7月3日 受入人数：生徒16名、引率6名 中国との交流では、初めての受入。授業見学、日本文化体験を行った。 渡航期間：2014年11月5日～8日 渡航人数：生徒11名、教職員3名 合同調理実習、スポーツ交流等
牛津高等学校	上海現代職業技術学校 (中国 上海)	2012年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	交流日：2014年12月16日 渡航人数：職員6名、生徒16名 点心（餃子）作り実習などを通し、交流を行った。
唐津西高等学校	貴州省青少年代表団 (中国 貴州省)	佐賀県国際経済・交流課からの受入依頼	交流日：2014年8月4日 受入人数：団員12名・引率2名 歓迎会、生徒交流、校内見学
	貴州師範大学附属中学校 (中国 貴州省)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：2014年11月20日～23日 交流日：11月21日 渡航人数：生徒10名、引率3名 両校の生徒による出し物、ホームステイ(21～22日1泊)
武雄高等学校	上海同济大学附属七一中学 (中国 上海)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航日：2014年12月3日～6日 交流日：2014年12月16日 渡航人数：生徒9名、引率3名 各校紹介、授業参加（英語、カンフー、水墨画）、座談会などを行った。
杵島商業高等学校	青岩（チョンアム）高等学校 (韓国 全羅南道)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航日：2014年10月23日～26日 渡航人数：生徒10名、引率者4名 両校の出し物、部活動見学・体験（伝統的な紙を使った小物作り、韓国式茶道）、Skypeを利用した交流
高志館高等学校	湖南（ホナム）園芸高校 (大韓民国 全羅南道)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：2015年3月17日～3月19日 交流日：2015年3月18日 渡航人数：生徒4名 相互の学校紹介、授業見学、昼食を兼ねた交流、竹雪軒・梨試験場見学
佐賀商業高等学校	アメリカの高校生	YFUより受け入れ受入依頼	受入期間：2014年6月16日～7月20日 受入人数：1名 短期留学生、2年生のクラスに在籍し授業に参加
	イタリア・ユベントスU16選手	佐賀県おもてなし課より受入依頼	受入日：2014年6月23日 受入人数：27名 茶道部、書道部と一緒に日本文化体験
	スリランカ高校生	「地球市民の会」招へい事業	受入日：2014年9月14日 受入人数：6名 ボランティア部と文化交流
	パキスタン学生	日本赤十字社青少年交流事業	受入日：2014年10月29日 受入人数：2名 2年生の授業に参加、日本文化体験
	中国サッカーユースチーム (中国 上海)	佐賀県からの受入要請	受入日：2015年1月15日 受入人数：38名 サッカー部とサッカー交流、中国語履修者との交流
	筏橋（ボルギョ）商業高校 (韓国 全羅南道)	2014年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：2014年12月16日～19日 渡航人数：生徒8名、教職員3名 クラブ活動体験（七宝焼きなど）、交流会（出し物披露）
佐賀工業高等学校	順天（スンチョン）工業高等学校 (韓国 全羅南道)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	受入日：2014年10月16日 受入人員：生徒13名、校長、職員4名 初めて順天工業高等学校より来校。合同実習（機械科、建築科）、ランチ交流、折り紙・紙飛行機体験を通して交流を深めた。また、セウォル号の事故をしのいで、本校より千羽鶴を贈呈した。 渡航日程：2014年12月10日～12日 渡航人数：生徒14名、校長、職員4名 2回目の訪問。合同実習（電気：配管、建築：CAD、機械：旋盤）、親善バスケットボール大会を行った。

学校名	相手校	交流の経緯	H26の交流内容
多久高等学校	貴州大学付属中学校 (中国 貴州省)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：2014年11月20日～23日 渡航人数：生徒10名、教職員3名 語学(中国語)、文化紹介、郷土芸能等
	Riam Road Secondly School (マレーシア)	ライオンズクラブからの依頼	交流日：2014年12月5日 受入人数：生徒1名 授業体験では、本校の5つの授業に参加してもらい、様々な活動を通して、本校の生徒と交流を深めた。英語の授業では、英語での自己紹介やそれぞれの国の文化の紹介を行い、さらに日本の歌を一緒に歌った。
伊万里農林高等学校	Kinabalu International School (マレーシア)	ライオンズ2014年 冬季来日生の受入交流	交流日：2014年12月9日 受入人数：1名 現代文・英語・体育の授業や、食品・園芸の実習に参加し、生徒と交流した。
嬉野高等学校	桃園県私立啓英高級中学(台湾)	佐賀県国際経済・交流課より依頼	交流日：2014年6月16日 受入人数：生徒36名 職員2名 授業見学、歓迎セレモニー、和太鼓部やソングリーディング部がパフォーマンス披露
	広東実験中学校(台湾)	修学旅行による来日	交流日：2014年7月15日 歓迎会、生徒交流、校内見学
唐津南高等学校	ジャカルタ国立大学付属ラプスクール高等部(インドネシア)	インドネシアからの語学研修・異文化体験交流研修についての日本での受入先として活動されている、NPO法人バリ教育交流協会が、唐津の子供たちに異文化交流をさせたいということで、唐津市国際交流協会を通して受け入れ依頼があった。	交流日：2014年10月29日 受入人数：43名 歓迎セレモニー(書道パフォーマンス)、授業見学・参加(実習体験)、相互交流(唐津くんちの紹介)などを行った。授業見学では各学科専門の実習(植物バイオの実験、クッキー製造、被服実習など)を3班に分かれて見学し、茶道の体験や書道の見学なども行い交流を図った。その後、それぞれ民族舞踊の紹介(本校は唐津のくんち囃子を紹介)を行った。(一行はその日唐津市内でホームステイを行っている)。
鳥栖高等学校	カナダブリティッシュコロンビア州ヴァンクーヴァー市	語学研修プログラム	渡航日程：2015年3月20日～4月1日 渡航人数：9名(1年生) ヴァンクーヴァー市郊外でホームステイ(12日間)しつつ、ブリティッシュコロンビア大学訪問や現地高校生との交流、英語語学研修等を実施。
	ドイツ・ツァイツ市	鳥栖市がドイツ・ツァイツ市と姉妹都市を提携しており、その交流事業の一貫として本校を訪問したものの	受入日：2014年5月28日 受入人数：学生10名、引率2名、随員4名の計16名 本校1年生との交流や授業参観、部活動見学等を行った。
白石高等学校	パキスタンイスラム共和国	日本赤十字社の国際親善事業で来日	受入日：2014年10月28日 受入人数：2名 授業参加(調理実習ほか)、部活動参加(書道・茶道ほか)
佐賀北高等学校	サンガミッタ女子高校(スリランカ)	地球市民の会からの依頼	交流日：2014年9月17日 受入人数：7名 授業体験、書道体験、校内見学
	清州(チョンジュ)外国語高校(韓国 忠清北道)	修学旅行による来日	交流日：2014年11月6日 受入人数：23名授業体験、書道・茶道体験、部活動見学
唐津東高等学校	インドネシア81高校	インドネシアNPO団体からの依頼	交流日：2014年6月18日 受入人数：32名 民族舞踊、楽器の演奏、空手道部による演武、剣道体験、書道体験、グループ交流(英語の授業)
神埼清明高等学校	U-16 韓国女子ハンドボールチーム	U-16日韓交流事業として、日本ハンドボール協会から佐賀県での受入要請があった。それをうけ、佐賀県ハンドボール協会から、文化体験を含む学校での交流体験の依頼があった。	交流日：2014年10月23日 受入人数：20名 書道体験、お茶を楽しむ
佐賀県立唐津東中学校	董玉娣中学校(香港)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	【スカイプ交流】2015年3月17日 自己紹介や相互に文化紹介。 【渡航】 渡航日程：2015年3月19日～3月21日(2泊3日) 交流日：3月20日 渡航人数：13名 施設見学、英語の授業を一緒に受講、日本文化の紹介、ポストカード書き、中学校の周りを一緒に散策する活動等を行った。

学校名	相手校	交流の経緯	H26の交流内容
佐賀県立 武雄青陵中学校	麗水華陽(ファヤン)中 学校(韓国 全羅南道)	2014年より「世界とつなが る佐賀県青少年交流推進事 業」に参加	交流日:2015年1月29日 受入人数:生徒22名、教職員4名 音楽を通しての交流、文化紹介、英語での交流等
佐賀大学文化教育 学部附属中学校	聖公会林護中学校 (香港)	2014年より「世界とつなが る佐賀県青少年交流推進事 業」に参加	【スカイプ交流(渡航事前交流)】 交流日:2014年10月27日 交流人数:生徒7名、林護中学校生徒16名 【渡航】 交流日:2014年11月14日 渡航人数:生徒8名、職員4名 授業交流(英語、商業)、折り紙やバレーボールなど運動等 を通しての交流会 【スカイプ交流】 交流日:2014年2月6日 交流人数:生徒40名 インターネットのテレビ会議システムSkypeを使い、「いじ め問題」について合同授業を行った。
龍谷学園 龍谷高等学校	瀋陽市芸術幼児師範学校 (中国 遼寧省)	2014年より「世界とつなが る佐賀県青少年交流推進事 業」に参加	渡航期間:2014年11月3日~6日 交流日:11月4日 渡航人数:保育コース生徒9名、教職員3名 文化紹介、幼児教育を通じた交流等
佐賀市立 小中一貫校芙蓉校 中学部	有治初等中学校 (韓国)	当該校長より日本へ修学旅 行に来た際、同じ規模の小 中一貫校である本校と交流 をしたいと申し出があっ た。	交流日:2015年1月13日 受入人数:中学生14名 全校で和太鼓の鑑賞をした。その後、中学生が日本の文化に 関するクイズやゲームを企画し、交流をした。
鳥栖市立 鳥栖中学校	ザクセン・アンハルト州 ツァイツ市(ドイツ)	映画「月光の夏」にも登場 したピアノ(フッペル社) がツァイツ市で製造された ことがわかり、友好交流都 市となった。2004(H16)年 より、隔年で互いの市を学 生10名が訪問し、相互理解 をはかっている。	交流日:2014年5月27日 本校では、歓迎セレモニー、オリエンテーション、2時間の 授業への参加、本校へのメッセージ作成、本校生徒との昼食 を行った。また、本校生徒の中には、自宅にホームステイを させている生徒もいた。
武雄市立 武雄北中学校	上海信男教育学園文来高 校(中国)	育友会が主催する教育講演 会で、市教育監の代田昭 久・武内小校長を講師に行 われた。上海信男教育学園 の理事長と代田氏が旧知の 間柄で、グローバルな視点 を持ってもらおうと企画し たもの。	交流日:2014年10月9日 受入人数:約60名(高校1~2年生) TV会議システムにより、「これからの日本と中国の関係を考 える」をテーマに、質問を出し合う日中交流。
武雄市立 武雄中学校	セバストポール (アメリカ)	約30年前より山内町が姉妹 都市を提携しており、たけ おワールドフレンズ主催で 生徒の交流を行っている。	渡航日程:2015年3月25日~4月4日 渡航人数:6名訪問 現地のホストファミリーにホームステイし現地の学校と交流 している。生徒の訪問・受入を交互に行っている。
武雄市立 山内中学校	セバストポール (アメリカ)	約30年前より山内町が姉妹 都市を提携しており、たけ おワールドフレンズ主催で 生徒の交流を行っている。	渡航日程:2015年3月25日~4月4日 渡航人数:5名訪問 現地のホストファミリーにホームステイし現地の学校と交流 している。生徒の訪問・受入を交互に行っている。
神崎市立 背振中学校	アモイ大学 (中国)	西九州大学(神崎市)から の依頼により訪問交流を受 け入れた。	交流日:2014年7月16日 受入人数:学生25名 第2学年の英語の授業に参加してもらい、本校生徒と英語に よるコミュニケーション活動を行った。
基山町立 基山中学校	マレーシア	ライオンズクラブの事業	受入日程:2014年12月10日~11日(2日間) 受入人数:1名 基山町内にホームステイし、その期間中の2日間を本校で過 ごす。1年1組に所属させ、授業や給食等(朝の会から帰りの 会まで)を体験させた。
佐賀龍谷学園 龍谷中学校	Keira High School (オーストラリア)	語学研修プログラム	交流日:2015年3月5日 訪問人数:15名(中学校3年生)、引率2名 現地の生徒に日本の文化(折り紙・習字)を教えた。 また一緒に英語の歌を歌ったり、ダンスを踊った。
佐賀市立 松梅小学校	フィリピン・インドから の親善大使	公益財団法人オイスカ「子 供の森」計画 子ども親善 大使交流事業	交流日:2014年5月27日 受入人数:4名 3・4年生と昔遊びやドッジボールで交流
佐賀市立 春日北小学校	フィリピン・インドから の親善大使	公益財団法人オイスカ「子 供の森」計画 子ども親善 大使交流事業	交流日:2014年5月27日 受入人数:5名(13~15才) 6年生児童と「書道体験」や「和食体験(納豆)」などで交 流

学校名	相手校	交流の経緯	H26の交流内容
佐賀市立 川上小学校	佐賀大学の留学生	「土曜夢学級」として川上小学校PTAが主催している。	交流日：2014年7月26日 交流人数：留学生12人、児童34人 出身国の紹介や、そうめん流し体験、カヌー体験を通して、児童と交流を行った。
鳥栖市立 基里小学校	冠山南（カンサンナム） 初等学校（韓国）	佐賀県国際経済・交流課からの受入依頼	交流日：2015年1月13日 受入人数：25名（児童6名（4～6年）、校長先生、保護者） ・本校4年生が、鳥栖市音楽祭で発表した歌や音楽を披露したり、佐賀県について発表。 ・冠山南初等学校の児童は、学校の紹介や踊りを披露。 ・互いの好きな教科やスポーツなどをランキング形式で伝え合った。 ・本校の4年生が、手作りの名刺を1人1人に手渡す。 ・ランチ交流、授業見学
唐津市立 巖木小学校	LancerRoadSchool （インド）	職員の友人の紹介	交流日：2015年2月17日、2月24日 東唐津小学校と巖木小学校4年生が、インドの小学校とテレビ会議システムを使い、互いの自己紹介や住んでいる地域の紹介を通して、交流を行った。
唐津市立 東唐津小学校	LancerRoadSchool （インド）	職員の友人の紹介	交流日：2015年2月17日、2月24日 東唐津小学校と巖木小学校4年生が、インドの小学校とテレビ会議システムを使い、互いの自己紹介や住んでいる地域の紹介を通して、交流を行った。
神崎市立 背振小学校	ポークール小学校 （フランス）	フランス、ポークール市の市長等使節団が来校（2014年10月）した際に、市長の推薦でポークール小学校と交流することになった。	交流期間：2014年11月～2015年2月 本校4年生児童が、メールや手紙等の交流を数回行った。
有田町立 有田小学校	カザンラック民族舞踊団 （ブルガリア）	カザンラック民族舞踊団が、「有田パーセリンパーク秋祭り」に出演するため来日した際に小学校を訪問。	交流日：2014年9月12日 受入人数：30名 ダンス披露、児童との交流（「チロリン節」（皿踊り）を一緒に踊る）

5. 国際協力

(1) 国際協力の推進

佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	バングラデシュ	モンゴル	パラオ	計	主な研修機関
55～5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューティク二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和看護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユー
6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	16	佐賀医大、ガコホレーション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、レミージュパ、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジャパソフシステム、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビューティク二葉
15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
24～26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	211	63	13	13	4	17	11	3	1	2	1	2	341	

昭和58年度までは、県単独事業。

59年度以降平成15年度までは国庫補助事業。平成16年度は、再び県単事業として実施。

平成21年度から23年度まではJICAの補助事業

(国際交流課調)

② 独立行政法人国際協力機構 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タ イ	〃
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
S62	1	タ イ	佐賀大学農学部
S63	2	ケ ニ ア	〃
		中央アフリカ	吉田鉄工所
H1	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
H3	1	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	(株)ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パラオ	(財)佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車(株)
H14	1	モンゴル	(有)ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブータン	佐賀大学農学部
H19	1	ブータン	〃
H20	1	ブータン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部

*H22～H26の受入はなし

独立行政法人国際協力機構 九州国際センター 調

③ 独立行政法人国際協力機構 海外技術専門家派遣状況(派遣時佐賀県在住者)(平成27年3月末現在)

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	85	
シンガポール	1	第三国(電力供給・送配電)
インドネシア	19	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護(産科)、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム(GIS)、技術移転計画、人口知能2、コンピュータ映像
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究(媒介節足動物研究)
ベトナム	8	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理
バングラデシュ	11	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIT支援アドバイザー
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	5	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー/水稻育種・栽培
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
スリランカ	5	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
パプアニューギニア	2	業務調整/教材作成支援
中南米	25	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	6	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員
ボリビア	2	病院管理、アースダムの設計・施工
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国(光ファイバー伝送システム)、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ(小規模米作近代化技術)、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	1	マングローブ生態系の回復と管理
アフリカ	9	
ケニア	3	地下水開発(堀削機運転・堀削機維持)、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	1	灌漑/農民研修
マリ	2	村落開発アドバイザー(農業一般)
ウガンダ	1	業務調整/稲作普及
マラウイ	1	船舶機関士養成
計	123	

ア 年度別派遣者数 (調整員/短期ボランティア、日系青年ボランティアを含む)

年次	隊	派遣者数	男	女	派遣中	帰国
昭和43~平成7		130	93	37	0	130
8		2	1	1	0	2
9		3	1	2	0	3
10		3	2	1	0	3
11		7	4	3	0	7
12		4	2	2	0	4
13		4	3	1	0	4
14		15	9	6	0	15
15		10	3	7	0	10
16		13	5	6	0	13
17		7	1	6	0	7
18		11	4	7	0	11
19		12	4	8	0	12
20		13	6	7	0	13
21		15	7	8	0	15
22		17	5	12	0	17
23		6	3	3	0	12
24		10	5	5	0	10
25		8	4	4	11	
26		5	2	3	5	
計		295	164	129	16	288

イ 国別・地域派遣者数 (日系青年ボランティア、短期ボランティア、調整員を含む)

国・地域	派遣者数	派遣中	帰国
アジア	83	5	78
インドネシア	2	0	2
中国	5	0	5
タイ	5	0	5
フィリピン	10	0	10
マレーシア	10	0	10
ベトナム	4	0	4
バンラデシュ	5	1	4
ネパール	7	0	7
スリランカ	10	1	9
ラオス	4	0	4
インド	1	0	1
ブータン	6	1	5
ヨルダン	3	1	2
カンボジア	2	0	2
モンゴル	5	0	5
シリア	2	0	2
パキスタン	1	0	1
ウズベキスタン	1	1	0
オセアニア	24	1	23
バブアニューギニア	7	0	7
ソロモン	5	0	5
トンガ	3	0	3
バヌアツ	3	1	2
ミクロネシア	1	0	1
フィジー	3	0	3
キリバツ	1	0	1
マーシャル諸島	1	0	1
中南米	68	3	65
ホンジュラス	7	0	7
ベネズエラ	7	0	7
ボリビア	8	1	7
コロンビア	3	0	3
パラグアイ	10	0	10
グアテマラ	7	1	6
ニカラグア	3	0	3
エル・サルヴァドル	3	0	3
ペルー	2	0	2
エクアドル	3	1	2
パナマ	3	0	3
ジャマイカ	1	0	1
ドミニカ共和国	4	0	4
コスタリカ	1	0	1
メキシコ	1	0	1
ブラジル	4	0	4
チリ	1	0	1
アフリカ	107	6	100
チュニジア	1	0	1
モロッコ	8	0	8
ケニア	18	0	18
タンザニア	11	0	11
ガナ	5	1	4
リベリア	2	0	2
ザンビア	11	1	10
セネガル	7	0	7
マラウイ	12	1	11
ニジェール	3	0	3
コートジボアール	3	0	3
ボツワナ	4	1	3
マダガスカル	1	0	1
ジンバブエ	2	0	2
エチオピア	4	1	3
ウガンダ	7	0	7
ベナン	2	0	2
カメルーン	1	0	0
モザンビーク	2	1	1
ブルキナファソ	3	0	3
ヨーロッパ	8	0	8
ブルガリア	5	0	5
ハンガリー	3	0	3
佐賀県計	290	15	274

ウ 青年海外協力隊員派遣状況(佐賀県出身者)

(平成27年3月末現在)

性 別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1 女	バングラデシュ	村落開発普及員	H25.6.28 - 派遣中
2 男	スリランカ	自動車整備	H25.7.4 - 派遣中
3 女	ポリビア	ソーシャルワーカー	H25.9.30 - 派遣中
4 男	ガーナ	理科教育	H25.10.1 - 派遣中
5 男	ボツワナ	観光	H26.1.14 - 派遣中
6 男	モザンビーク	コミュニティ開発	H26.3.31 - 派遣中
7 男	グアテマラ	野球	H26.6.30 - 派遣中
8 女	ウズベキスタン	保健師	H26.7.1 - 派遣中
9 女	スリランカ	環境教育	H26.10.2 - 派遣中
10 男	マラウイ	柔道	H26.9.24 - 派遣中
11 女	ザンビア	PCインストラクター	H27.3.23 - 派遣中

⑤ シニア海外ボランティア派遣状況

(平成27年3月末現在)

性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1 男	ブータン	食品衛生	H25.7.2 - 派遣中
2 男	マラウイ	品質管理	H26.1.6 - 派遣中
3 男	ブータン	農業機械	H26.7.1 - 派遣中

⑥ 日系社会青年ボランティア派遣状況

(平成27年3月末現在)

性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
			-

⑦ 日系社会シニア・ボランティア派遣状況

(平成27年3月末現在)

性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
			-

アセアン青年等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
元	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	(社)九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
16	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
17	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
18	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町村名	担当課（室）名	電話番号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務法制課 国際交流室	0952-40-7023	0952-40-2050	somu@city.saga.lg.jp
唐津市	国際交流課	0955-53-7102	0955-72-9203	kokusai@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働推進課	0942-85-3508	0942-83-3310	kyoudou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	国際交流室	0955-22-7046	0955-22-7213	kokusai@city.imari.lg.jp
武雄市	企画課	0954-23-9325	0954-23-3816	kikaku@city.takeo.lg.jp
鹿島市	企画財政課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	kikaku@city.ogi.lg.jp
嬉野市	うれしの温泉観光課	0954-42-3310	0954-42-2960	kankou@city.ureshino.lg.jp
神埼市	企画室	0952-37-0102	0952-52-1120	soumu-02@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	企画課	0952-37-0332	0952-52-6189	kikaku@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	まちづくり課	0942-92-7920	0942-92-0741	kyodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp
上峰町	企画課	0952-52-2182	0952-52-4935	kikaku@town.kamimine.lg.jp
みやき町	事業部まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	r-ayabe@town.miyaki.lg.jp
玄海町	財政企画課	0955-52-2112	0955-52-3041	zaiseikikaku@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	svoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画課	0952-82-3112	0952-82-3117	kikaku@town.omachi.lg.jp
江北町	総務企画課	0952-86-2111	0952-86-2130	bikkie@town.kouhoku.saga.jp
白石町	企画財政課	0952-84-7112	0952-84-6611	kikakuzaisei@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画商工課	0954-67-0312	0954-67-2425	kikaku-jocho@town.tara.lg.jp

2. 佐賀県庁の機関

所在地：（本庁）〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 電話(代表)：0952-24-2111
 （商工ビル1階）〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 電話：0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際経済・交流課 （佐賀商工ビル1階・4階）	○国際経済及び国際交流に係る施策の総合調整・推進、国際協力に関すること	0952-25-7004	0952-25-7084
国際交流プラザ	○多文化共生の推進に関すること		
旅券センター	○旅券に関すること	0952-25-7005	0952-25-7417
国際戦略グループ	○海外施策の総合調整及び推進に関すること	0952-25-7328	0952-25-7181

機関名	事業内容	電話番号	F A X
上海デスク (佐賀商工ビル4階国際ビジネスサポートオフィス内)	○企業の海外展開支援、県産品の輸出促進、観光客誘致、LCC等国际定期便の誘致	0952-25-7146	0952-25-5905
佐賀県香港代表事務所 (香港セントラル地区ペダーストリート1-3 セントラルビルディング10階)	○県内企業と中国企業の取引促進、佐賀牛等県産品の販促・販路拡大支援、香港や華南地域からの観光客誘致支援、学校間での交流促進支援	+ 852-3975-2846	+ 852-3975-2800
佐賀県瀋陽代表事務所 (中国遼寧省瀋陽市和平区南京北街206号 瀋陽城市広場第1タワー 2-1902号)	○企業の海外展開支援、県産品の輸出促進、観光客誘致、人的ネットワークの構築	+ 86-24-2334-2823	+ 86-24-2334-2853
観光戦略グループ	○観光施策の総合調整及び推進に関すること	0952-25-7386	0952-25-7304
おもてなし課	○観光施策の実施、観光宣伝及び観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関すること	0952-25-7098	0952-25-7304
流通課	○総合マーケティング、県産品の流通の振興及び卸売市場に関すること	0952-25-7252	0952-25-7307
商工課	○商工施策の企画・調整、地場産業の振興等	0952-25-7093,7095	0952-25-7270
空港課	○佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関すること	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課	○港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
教育庁 教育政策課 (グローバル人材育成担当)	○グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(社)佐賀県貿易協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル4階佐賀県国際ビジネスサポート オフィス内	0952-26-1474	0952-25-7084
(社)佐賀県観光連盟	〒840-0041 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟5階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡入国管理局 佐賀出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央3-3-20 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野2-2-1	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2丁目11番 1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423～25	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 福岡	〒810-0001 福岡市中央区天神11-17 福岡ビル4階	092-741-8783	092-714-0709
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央1丁目8-32 アイスクエアビル1F	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1	0955-23-2111	0955-23-6113
陶都有田国際交流協会	〒849-4153 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場 商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前国際交流協会	〒847-1516 佐賀県唐津市肥前町瓜ヶ坂434	0955-54-1581	